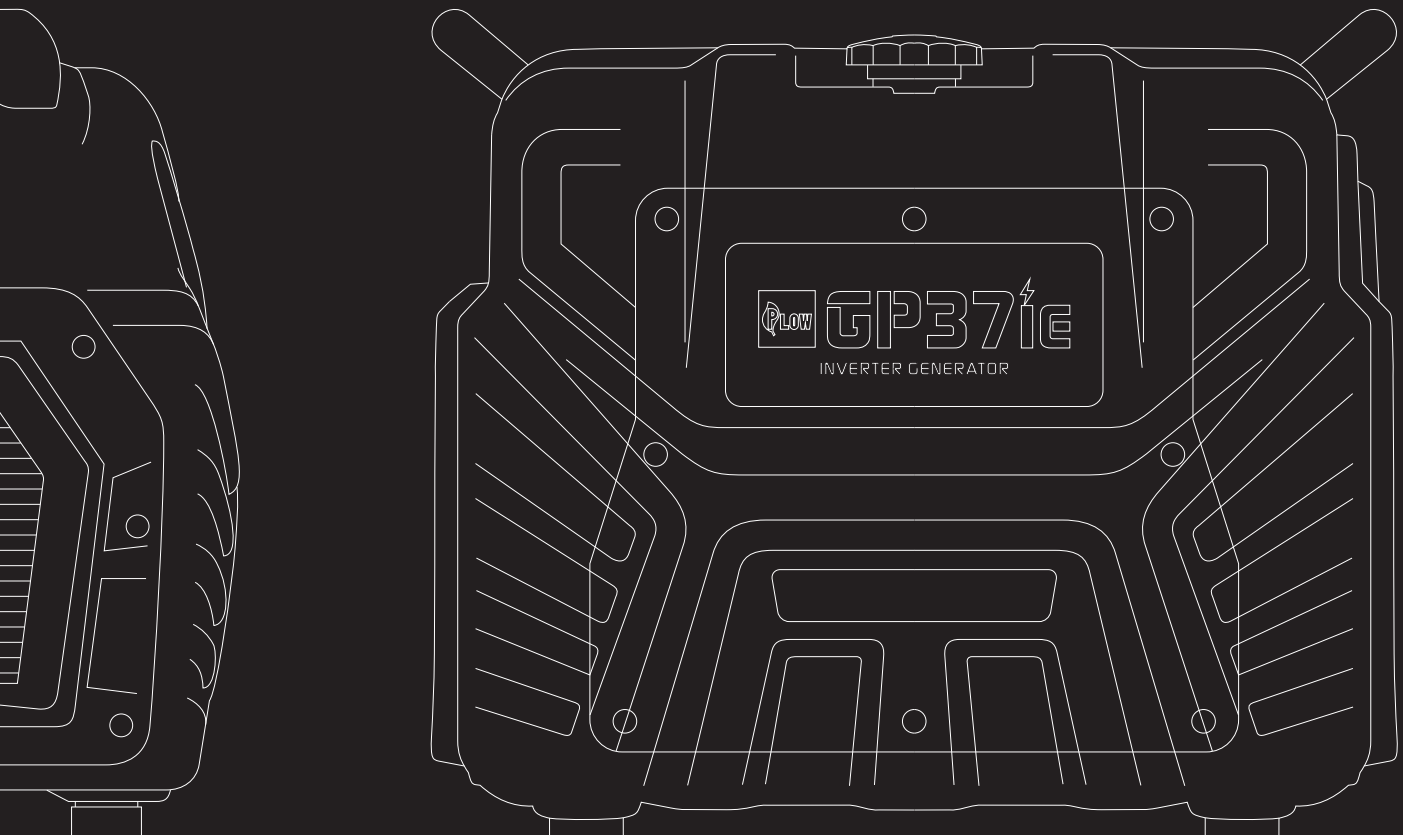




エンジン式インバーター発電機

GP37iE

OPERATING MANUAL



はじめに




この度は、当社のインバーター発電機 GP18iE をご購入いただき厚くお礼申し上げます。
本製品がいつまでもお役に立ちますよう、取扱い説明書を十分お読みの上、ご使用ください。
メーカーは、機械の用法、運転、点検、整備を直接監督指導することはできません。
正しく安全に作業を実施するのは、あなた自身です。
尚、この取扱い説明書で述べていることの他にも作業によっては、
法令、条例、規則や保険条件などが適用されることがありますので十分ご注意ください。
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。
尚、仕様変更などにより本製品と取扱い説明書の内容が異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。なお、ラベルが汚れている場合は石鹼水で洗い、柔らかい布で拭いてください。汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し必ず所定の位置に貼ってください。ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

注意表示に関して

この取扱い説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項に関して次のように表示しています。

-  **危険** …… 注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことになるものを示します。
-  **警告** …… 注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険性があるものを示します。
-  **注意** …… 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示しています。
- 重要** …… 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれがあるものを示しています。
- 補足** …… その他、使用上役立つ補足説明を示します。

もくじ

▲ 安全作業のために	4
使用者への注意について	5
排気ガスの危険性について	5
感電の危険性について	5
火災および火傷の危険性について	6
配線に関する注意事項	6
作業をはじめる前に	7
作業中	9
作業が終わったら	9
重要なラベルの場所とその取扱い	10
1 サービスと製品保証	
1 製品保証	12
2 サービス（相談窓口）	12
3 梱包内容	12
2 各部の名称	
1 本体の構成	13
2 コントロールパネル	14
3 ご使用の前に	
1 作業前の準備・点検	15
2 エンジンオイルの準備・点検	16
3 燃料の点検・補給	17
4 使用方法	
1 エンジン始動前の注意事項	18
2 エンジン始動前の点検	19
3 エンジン始動の仕方	21
4 エンジン停止の仕方	22
5 交流電源の操作	23
6 直流電源の操作	24
7 セルスタート用バッテリーの充電	25
8 スマートフォンアプリ（Gen-mate）	27
9 特別な要件	29

もくじ

5	メンテナンス	
1	点検・整備について	30
2	エンジンオイルの交換	31
3	エアクリナーの清掃	32
4	点火プラグの点検・交換	33
5	スパークアレスターの点検	34
6	燃料タンクフィルターの清掃	34
6	ご使用後の注意事項	
1	ご使用後の注意事項	35
7	運搬と保管	
1	運搬と保管	35
2	キャブレターから燃料を排出する	36
8	長期保管の注意事項	
1	長期保管のご注意	37
2	メンテナンス・保管	37
3	燃料タンクからの燃料排出	37
9	トラブルシューティング	
1	エンジントラブル対応表	39
2	エンジンが始動できない場合	41
3	エンジンが正常に動作しない場合	42
4	始動するがエンジン回転数が安定しない	42
5	交流電源が出力されていない	43
6	直流電源が出力されていない	43
7	ドレインホースからの燃料漏れ	44
10	仕様	45
11	環境補正	46
12	配線図	47
	パーツリスト・保証書	49

! 安全作業のために

1 安全 3 憲章

安全に作業するための基本です。作業前には復唱し守ってください。

- ① 作業開始前に仕業点検をおこないます。
- ② 点検整備するときは、必ずエンジンを止めておこないます。
- ③ 作業は原則 1 名で行い、複数人で作業を行いません。

これ以外にもぜひ守って頂きたい注意事項を本項の”安全作業のために”でまとめて取り上げておりますので、よくお読みいただいて必ず守ってください。

2 安全作業のために、次のことがらを必ず守ってください。

本製品（今後は本機と呼びます）を使用する前に、必ずこの取扱説明書並びにエンジンの取扱説明書をよく読み、十分理解した上で安全な作業をしてください。

ちょっとした油断、不注意から事故を起こさないため、次の注意事項は特に注意して常に安全に作業してください。



取扱説明書は大切に保管し、いつでも見られるようにしておいてください。本書は仕様変更等によりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

この取扱説明書は安全に関する重要な情報が掲載されており必ずよくお読みください。ご不明な点がございましたら購入した販売店へご相談ください。

また、お買い上げいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などございましたら、お気軽にお申しつけください。

! 警告 ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
発電機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒にお渡しください。

! 警告 排気ガス中には、有害な成分が含まれています。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や、動植物などにも十分ご注意ください。換気の悪い場所では使用しないでください。
エンジンの排気ガスには、有毒な一酸化炭素が含まれているため、一酸化炭素による中毒死のおそれがあります。

! 警告 本機は間違った使い方をされた場合、感電の原因になる場合があります。雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。また、保管しないでください。

使用者への注意について



警告

発電機を操作する前に、この取扱説明書を読んで理解してください。

子供は、発電装置から安全な距離だけ離れた位置より近づけないこと。適切な指示、説明なしでは絶対に誰にも本機を運転操作させないでください。また、子供には操作させないでください。事故や、機器の損傷が起こる原因となります。

本機はエンジンを停止後にハンドル側のみ横倒しで保管する事ができます。エンジン稼働中は発電機を傾けたり、移動しないでください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。

発電機を横倒しにする前に燃料コックを OFF にしてください。

エンジンが稼働中はケースカバーを取り外さないでください。最悪の場合はインバーターやオルタネーター、その他電気部品が熱により損傷する可能性があります。

排気ガスの危険性について



警告

エンジンの排気ガスには、有毒な一酸化炭素が含まれているため、一酸化炭素による中毒死のおそれがあります。

密閉された場所でエンジンを作動させると、短時間のうちに意識不明及び死亡につながる危険があります。エンジンは必ず換気の行き届いた場所で使用してください。

感電の危険性について



警告

雨や雪など濡れた場所では使用しないでください。

濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。

発電機は必ず接地（アース）してください。

電気部品（線及びプラグ接続部も含む）は、欠陥品でないこと。

本機は電力会社の配線や電源に接続しないでください。特別な用途で本機を使用する場合は資格を所持した電気技師のみが実行するものとします。ISO8528 に従い本機と電気機器の違いを考慮しなければいけません。

機械的応力が大きいため、ゴム及び可撓ケーブル（IEC 60245-4 による）又はその同等品のみを使用することが望ましい。

引出し線又は移動配電網を用いるとき、線の全長は断面積が 1.5mm² の場合は 60m を超えてはならず、断面積が 2.5mm² の場合は 100m を超えてはならない。

火災および火傷の危険性について



警告

ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は喫煙や炎や火花を出さないでください。必ずエンジンを停止してから冷却され換気の良い場所で給油を行ってください。

燃料は、可燃性であり容易に発火するため運転中には燃料の補給はしないこと。タバコを吸いながら又は炎の近くでは燃料の補給はしないこと。燃料はこぼさないこと。

ご使用前に燃料漏れを確認し、万が一燃料が漏れている場合は発電機を使用しないでください。

本機はエンジンを停止後にハンドル側のみ横倒しで保管する事ができます。エンジン稼働中は発電機を傾けたり、移動しないでください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。

運転中のマフラーは高温になりエンジンを停止した後、しばらくは高温になるため絶対に触れないように注意してください。

内燃機関の部品のなかには高温になりやけどを引き起こすものがあるため、発電装置に付けられた警告に注意すること。

運転中はマフラーの近くに可燃物を置かないでください。

オーバーヒートする可能性があるため、発電機を建物などから最低でも 1m 離してください。

発電機を室内に保管する前にエンジンを十分に冷やしてください。

機関の排気ガスは、毒性であるため発電装置は換気されてない部屋では運転しないこと。また換気された部屋に据え付けた場合は、防火及び防爆についての別の要求事項にも従わなければならない。

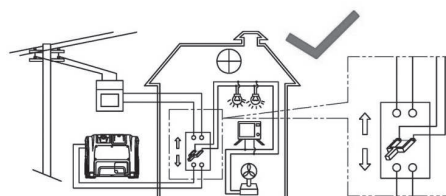
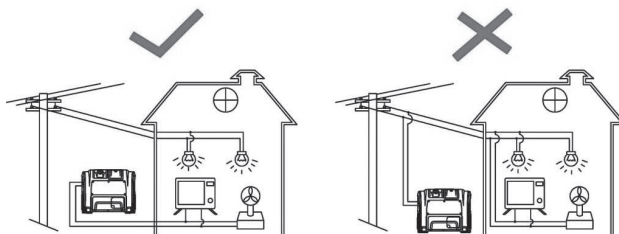
配線に関する注意事項



警告

電気工事士の資格を持った方が適切に工事をする事で本機を屋内配線に取り付ける事ができます。電力会社の電気配線には絶対に本機を接続しないでください。必ず壊れます。

本機を他社の発電機と並列で接続しないでください。



作業をはじめる前に

1 安全な服装で！

服装はきちんとした、だぶつきの無い活動的なものを着用し、保護マスク、保護メガネ、作業帽、不浸過性の手袋、作業靴を着用してください。

また、作業中の安全を考慮し、ラジオあるいはミュージックヘッドホンなどを使用しないでください。



2 必ず仕業点検を！

本機を使用される前に必ず仕業点検を実施してください。

- ① 各部の油量及び漏れの点検
- ② 各部のボルト、ナットのゆるみ点検及び増し締め
- ③ 各レバー類の動きが正常かどうかの点検
- ④ 電気配線の点検など

※ 仕業点検により不具合が発見された場合には、直ちに補修などの措置を講じてください。

絶対に、不具合・異常のある状態で使用してはいけません。

3 暗所作業禁止!

周囲の安全確保が不完全だったりや手元が見えにくい場合があります。暗い中での作業をしてはいけません。

4 作業者の制限!

1) 次に該当する人は、本機の作業に従事しないでください。

- ① 酒気を帯びた人
- ② 若年者
- ③ 未熟練者
- ④ 過労、病気、薬物の影響その他の理由により、正常な作業ができない人
- ⑤ 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供

2) 作業が続く場合には、健康に留意し、適当な休息と睡眠をとってください。

妊娠中の方は、作業に従事しないでください。

5 目的以外使用の禁止!

本機は定められた目的以外に使用すると、機械の安全性が損なわれる場合があります。

6 改造などの禁止!

本機の改造は危険ですので絶対におこなってはいけません。

故障の原因になるばかりか人身事故にもつながります。

7 機械を貸与する際の注意!

本機を他人に貸与する場合は、操作方法や注意事項などをよく説明し、取扱説明書を手渡してください。また借りた人が作業前に取扱説明書をよく読み、操作方法を十分理解してから作業を開始するように指導してください。

8 密閉室内での作業の禁止・換気に注意!

エンジンは有毒ガスを発散しますので、密閉した室内又は換気の悪い場所で使用してはいけません。排気ガスが空気を汚してガス中毒をおこす危険があります。換気には十分注意してください。



9 火気厳禁!

燃料の補給時や潤滑油、オイルなどの給油・交換時は、エンジンを止めてください。また、火災や引火爆発のおそれがありますので、くわえタバコなどの火気は絶対に近づけてはいけません。こぼれた燃料や潤滑油が高温部で着火する可能性がある場合は、エンジンが冷えきってから補給してください。



10 ヤケドに注意!

エンジン運転中および停止直後のエンジン・マフラーなどは、高温のため触れるとヤケドの危険があります。点検・整備などをおこなう場合は、エンジンの各部が十分に冷えてから（停止後30分以上）作業してください。

作業中

1 エンジン始動時の注意!

エンジン始動前に必ず次の点を確認してください。

○本機や作業員、足場などが雨や雪などで濡れていないことを確認してください。

○本機の周囲に人がいないことを確認してください。

○エンジンの周囲に可燃物がないことを確認してください。

○リコイルスタータでエンジンを始動する場合、リコイルのロープを最大に引張って更にスペースがあることを確認してください。

2 異常を感じた時の措置!

音や振動などで本機に異常を感じたときは、直ちにエンジンを停止させ、点検・修理などの適切な処置をとってください。

3 傾斜地での使用禁止!

傾斜地でのご使用は大変危険です。本機は必ず水平で周囲の安全の確認できる場所でご使用ください。

4 作業員のエンジン始動中の退出禁止!

作業員はエンジン始動中は決して本機を離れないでください。離れる際は必ずエンジンを停止してから離れてください。

作業が終わったら

1 終了時点検の実施を!

作業終了後に本機を清掃し次の作業の安全を確保するため、各部の点検をおこない異常が認められた場合は、補修などの措置を講じてください。

2 本機の格納は冷えてから!

本機を格納するときは、エンジンやマフラなどの高温部分が冷えてから、燃えやすい物が近くにない場所に格納してください。乾いた木片や薪などの燃えやすい物の近くに保管すると火災の原因となり危険です。



3 点検・整備は適正な工具の使用を!

点検・整備は適正な工具を使用してください。間に合わせの工具で点検・整備をおこなうと、作業中のけがや整備不良による事故の危険性があります。

4 長期保管前に燃料タンク、キャブレター内の燃料抜き取りを!

長期保管前には、燃料タンク内の燃料とキャブレターの燃料を抜き取り本機を火気の無い場所に保管してください。また抜いた燃料は引火しやすく火災や爆発の危険があります。所定の燃料タンクなどに入れ保管し、購入後 1 か月以内に使い切るようにしてください。

重要なラベルの場所とその取扱い

1 表示ラベルの手入れと貼付位置

本機には安全についてのラベルが貼ってあります。良く読み理解した上で正しくご使用ください。

- ① ラベルが汚れている場合は石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- ② 汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し所定の位置に貼ってください。
- ③ ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- ④ 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後元の位置に貼ってください。

型式番号 GP37IE	DC 出力 12V/8A	エンジンオイル点検 使用前に点検し上限まで補給してください。エンジンオイルは定期的に交換してください。 
AC 定格電圧 100V	USB 出力 5V/2A/1	
AC 定格電流 37A	燃料 無鉛ガソリン	
AC 定格周波数 50/60Hz	燃料タンク容量 13L	
AC 定格出力 3700VA	エンジンオイル SAE10W-40	


 販売元 株式会社ホンダパワー 〒943-0173 新潟県上越市大字富岡256-2
 URL <https://pLOW-power.com/> お問い合わせ先 ☎025-530-7025

推奨エンジンオイル:SAE10W-40(SE級以上)

始動手順

- 1  オイル確認
- 2  燃料確認
- 3  エンジンスイッチ ON
- 4  チョーク
- 5  スタート
- 6  チョーク

停止手順


- 1  プラック
- 2  エンジンスイッチ OFF

CE 




△危険

室内で発電機を使用すると数分で死亡する可能性があります。発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは目に見えず匂いもしない毒物です。









家の中や車庫の中では絶対に使用しないでください。ドアや窓が開いていても、絶対に使用しないでください。



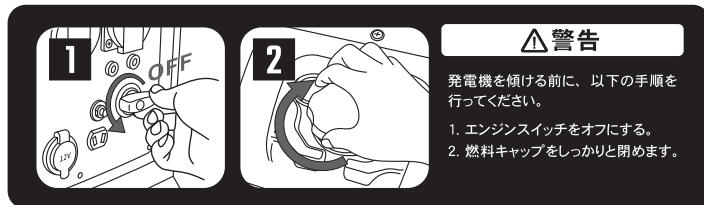
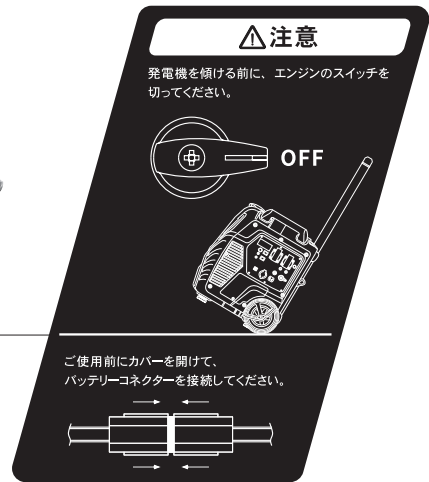
窓、ドア、通気口から離れた屋外でのみ使用してください。

△警告

-  操作する前に、取扱説明書とすべてのラベルをお読みください。
-  換気されていない部屋で運転しないでください。排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。
-  電気事故を防ぐため、ユニットを接地してください。
-  本体を濡らさないでください。本機を雨や湿気の多い場所に置かないでください。
-  運転中は燃料を補給しないでください。毎回使用する前に、燃料が漏れていないか、こぼれていないかを確認してください。発電機が燃焼が漏れている場合は使用しないでください。可燃物の近くで運転しないでください。



この面だけ下に積む。



1

サービスと製品保証

1

製品保証

本製品には、保証書が添付してあります。詳細は、保証書をご覧ください。

2

サービス(相談窓口)

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。

その際、本機の型式（GP37iE）と製造番号・ご購入日等をお伝えください。

□製造番号貼り付け位置



発電機本体背面の下部中央に製造番号が記載されています。

3

梱包内容

本製品の同梱内容は次の通りです。製品の購入後に内容物が入っているかお確かめください。



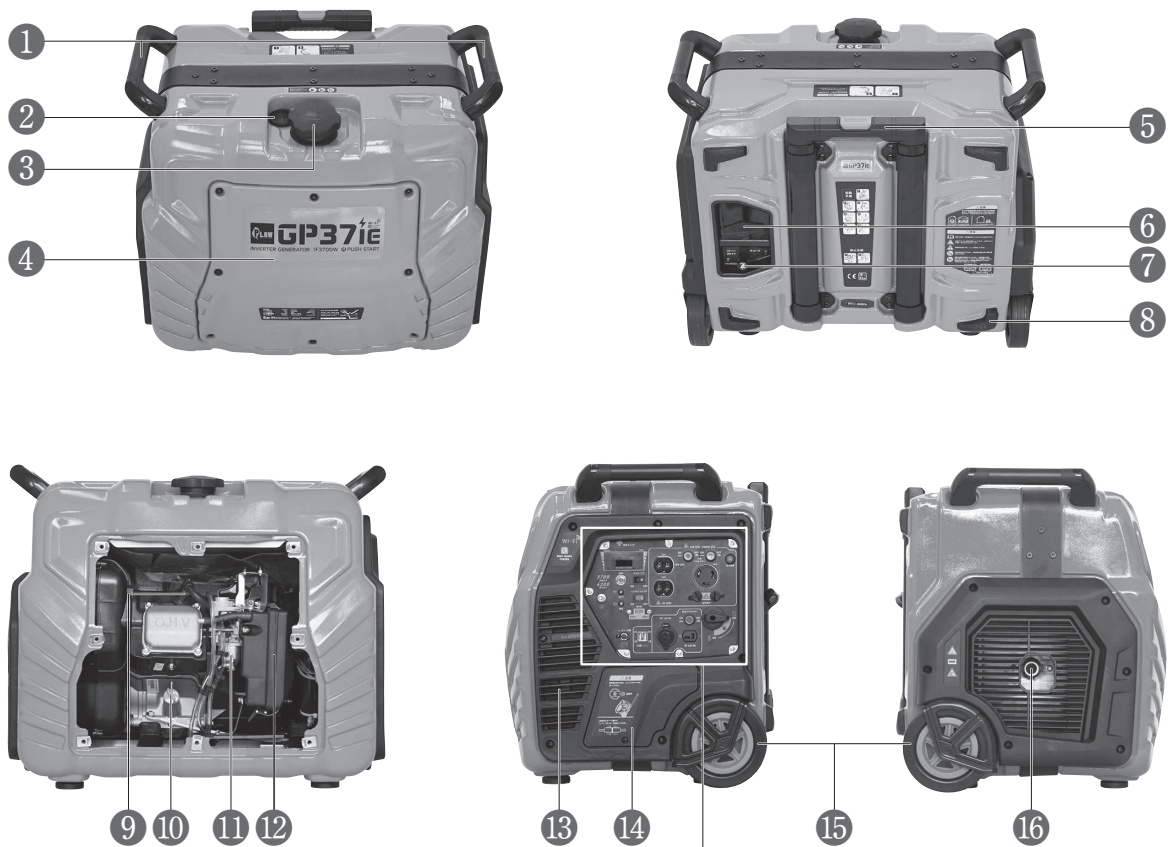
① 発電機本体	× 1	⑥ 収納ポーチ	× 1
② オイルファンネル	× 1	⑦ バッテリー充電コード	× 1
③ プラグレンチ・ハンドル	1 組	⑧ セルスタートバッテリー用充電コード	× 1
④ 六角レンチ小・ハンドル	1 組	⑨ 取り扱い説明書	× 1
⑤ ドライバー（プラス・マイナス兼用）	1 組		

2

各部の名称

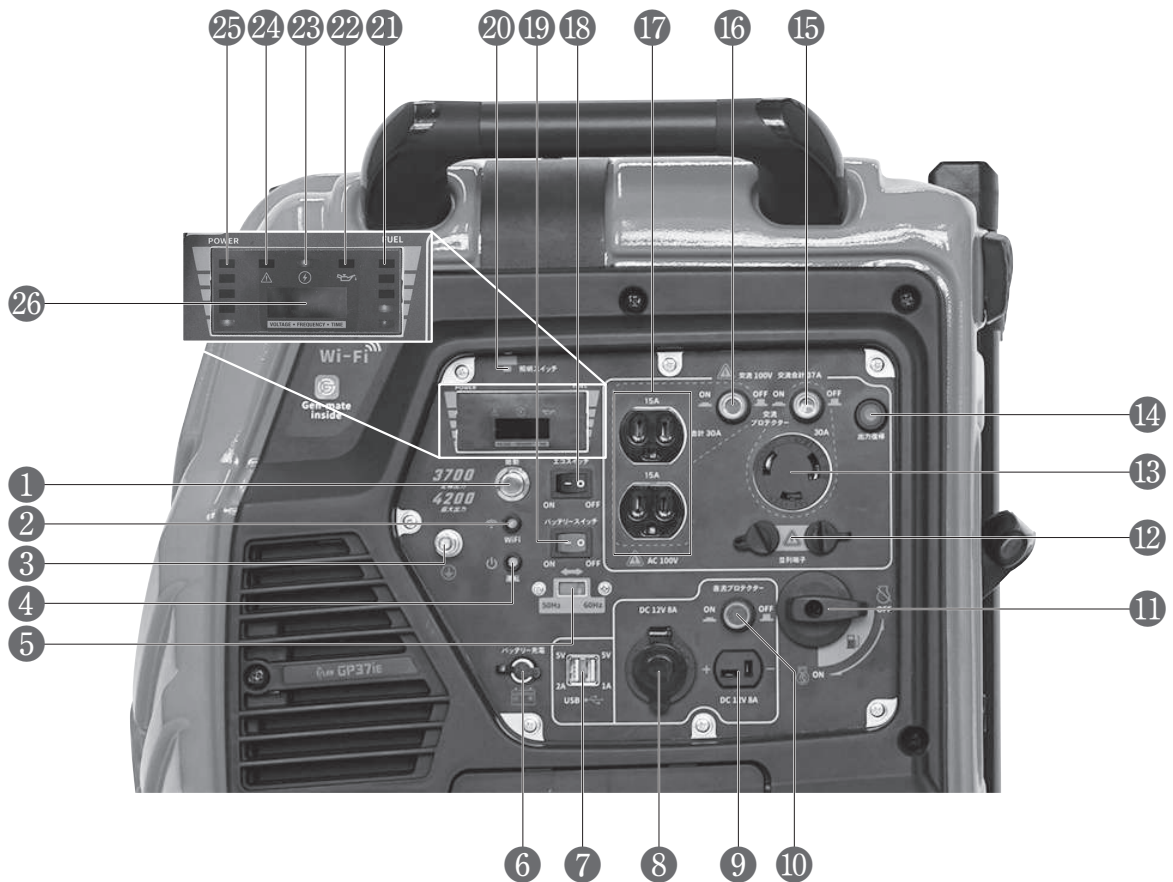
1

本体の構成



詳細は次項 P.13 コントロールパネル～

- ① リフトハンドル：この2つのハンドルで発電機を持ち上げます。
- ② 燃料計：燃料タンクの燃料レベルを確認します。
- ③ 燃料キャップ：充填用の燃料タンクへのアクセスします。
- ④ メンテナンスカバー：エンジンオイルキャップ、エアフィルター、キャブレター、スパークプラグなどにアクセスできます。
- ⑤ キャリーハンドル：ハンドルを引いて、地面を移動します。
- ⑥ リコイルハンドル：エンジンを始動するためのハンドルです。
- ⑦ チョークレバー：エンジンが冷えている時に ON にし、燃料を濃くします。
- ⑧ ゴムストッパー：横置きにするときのゴム台座。
- ⑨ スパークプラグ：エンジンピストンがシリンダーの上部に達すると、混合気に点火します。
- ⑩ オイルキャップ：エンジンオイルを充填または排出するためのアクセス。
- ⑪ キャブレター：混合気をエンジンに供給します。
- ⑫ エアフィルター：エンジンの空気をきれいにします。
- ⑬ 空気口：冷たい空気の入込み口。
- ⑭ バッテリーメンテナンスカバー：バッテリーへのアクセスとバッテリーコネクタの接続を可能にします。
- ⑮ 移動タイヤ：キャリーハンドルを利用し、転がしながら移動します。
- ⑯ マフラー：エンジンの排気音を低減します。



- ① スタートボタン：電動スターターを装備したエンジンを始動するために使用できます。
- ② Wi-Fi LED：Gen-mate ユニット付きの発電機をスマートフォンのGen-mate APPにWi-Fiで接続すると、ライトが点灯してゆっくり点滅します。
- ③ 接地（アース）端子：発電機の接地点。
- ④ 電源 LED：発電機内の Gen-mate ユニットが正常に動作しているときに点灯します。
- ⑤ 周波数切り替えスイッチ：地域の周波数に合わせます。
- ⑥ 電充ポート：発電機内の始動バッテリーを充電します。
- ⑦ USB プラグ：5VDC デバイスを接続するための USB 出力レセプタクル。
- ⑧ 12V 直流アクセサリースOCKET：最大電力が 120W 未満の一部の電化製品をサポートします。
- ⑨ 12V 直流コンセント：発電機の動作中に 12V 鉛蓄電池を再充電するための接続。
- ⑩ 直流プロテクター：過負荷による通電遮断とエンジンを再始動することなく直流出力を回復します。
- ⑪ 燃料コック：キャブレターへの燃料供給を制御します。
- ⑫ 並列端子（オプション）：同じ 2 つの発電機用の AC 並列操作コンセント。※不使用
- ⑬ 30A 交流コンセント：AC デバイスを接続するための交流出力コンセント。（NEMA L5-30P）
- ⑭ リセットボタン：過負荷保護の条件下で発電機の出力を回復するために使用できます。
- ⑮ 30A 三ツ口コンセントプロテクター：過負荷による通電遮断とエンジンを再始動することなく 30A 交流出力を回復します。
- ⑯ 15A 交流プロテクター：過負荷による通電遮断とエンジンを再始動することなく 15A 交流出力を回復します。
- ⑰ 交流コンセント：AC デバイスを接続するための交流出力コンセント。
- ⑱ ECO スイッチ：負荷に応じてエンジン回転数を変化させ、燃料消費と騒音を減らします。
- ⑲ バッテリースイッチ：バッテリーのオン/オフをし、電動スターター・Gen-mate ユニット・表示画面に電力を供給します。
- ⑳ LED 照明ボタン：コントロールパネルの上部にある LED 照明をオン/オフにします。
- ㉑ 燃料バー：発電機の燃料残量を表示します。
- ㉒ 低オイルレベル LED（黄色）：オイルレベルが動作レベルを下回ると点灯し、エンジンが自動的に停止します。
- ㉓ レディ LED（緑）：発電機が正常に動作しているときに点灯します。
- ㉔ 過負荷 LED（赤）：発電機が過負荷の場合、交流コンセントで短絡が発生した場合に点灯します。
- ㉕ パワーバー：発電機のさまざまな電力出力を示しています。
- ㉖ 表示画面：発電機の電圧、周波数、総運転時間を表示します。

使用前に自分と周囲の安全をしっかりと確保しましょう。事前のチェックを行う事で怪我の危険性が大幅に軽減されます。このマニュアルをよく読み停止方法や操作方法を習得して下さい。

■ 本体の点検

安全に本機を末永くご使用頂くためには事前のチェックが非常に重要です。使用前に修理箇所や問題が見つかった場合はすぐに販売店に修理を依頼してください。また、本書「P.15 ご使用前に」を確認し不備や不足がないか確認してください。



警告

本機を不適切に管理・保管したり修理を行わなかった場合、重大な故障や破損を引き起こす可能性があります。最悪の場合、使用者の怪我や事故が起きる可能性があります。それぞれの作業前に事前チェックを行い問題の改善を行って下さい。



警告

本書記載の使用前点検・使用後のメンテナンスが適切に行われていない場合の故障・不具合については、保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

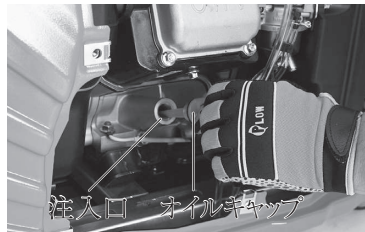
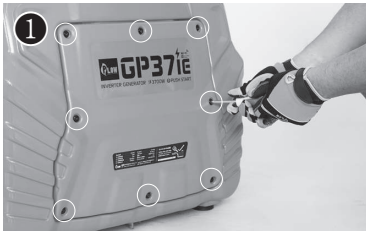
! **注意** エンジン始動前に必ずエンジンオイルを規定量入れてください。

! **注意** 発電機は発送時、エンジンオイルは入っておりません。使用する前にエンジンオイルを入れてください。

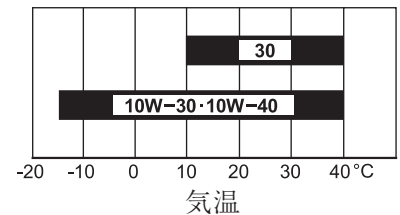
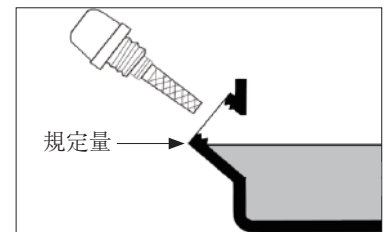
! **注意** 推奨エンジンオイル：4 ストローク用エンジンオイル，SJ 10W-30 or SJ 10W-40

! **注意** エンジンオイル量：0.6L

■ エンジンオイルを入れる



- ① 本機が水平になっていることを確認して、メンテナンスカバーを開きます。
- ② オイルキャップを取り外します。
- ③ 指定された推奨エンジンオイルを充填し、オイルキャップをしっかり締め込みます。
- ④ 入っていても量が少なかったり汚れている場合は、補充や交換を行ってください。(P.31 エンジンオイルの交換 参照)



! **危険** エンジンが温まっているとエンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。

! **注意** エンジンオイルレベルを上限に保ちます。オイル量が少ないとエンジン故障の原因になります。

! **注意** エンジンはオイル量を確認するオイルアラート機能があり、オイルレベルが下限より下回ると自動的にエンジンが停止します。

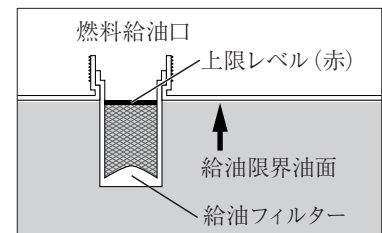
! **注意** エンジンが停止するとオイル警告ランプ（黄色）が点灯しオイルを補充しない限りエンジンの再始動はできません。

! **注意** エンジンオイルは使用時に燃焼したり、汚れたりしていきます。定期的に交換・充填を行うようにしてください。

- ⚠ 危険** ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発性があります。本製品にガソリンを給油する際やガソリンが保管されている場所では喫煙など炎や火花を出さないでください。
- ⚠ 危険** エンジンを停止し換気の良い場所で給油してください。
- ⚠ 危険** 給油口の赤のレベルゲージ以上に充填しないでください。燃料がオーバーフローする可能性があります。
- ⚠ 危険** 使用する前に燃料漏れがないか必ず確認してください。燃料が漏れている場合は絶対に発電機を使用しないでください。
- ⚠ 危険** ガソリンは塗装面やプラスチック部品を劣化させる可能性があるため、こぼれた燃料は清潔で乾いた柔らかい布ですぐに拭き取ってください。こぼれた燃料による損傷はメーカー保証の対象外です。
- ⚠ 危険** 本機を不適切に管理・保管したり修理を行わなかった場合、重大な故障や破損を引き起こす可能性があります。最悪の場合、使用者の怪我や事故が起きる可能性があります。それぞれの作業前に事前チェックを行い問題の改善を行ってください。
- ⚠ 危険** 燃料を補給する場合は、必ず燃料口についての給油フィルターを通してください。

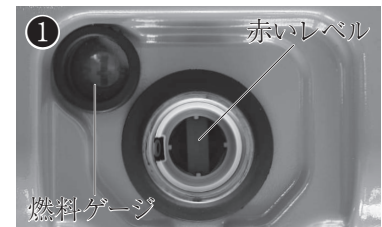
■ 燃料の点検

燃料給油キャップを外し、燃料があるか点検します。
少ない場合は補給してください。



■ 補給 [使用燃料] 無鉛レギュラーガソリン

- ① 燃料キャップを外し、給油フィルターの赤いレベルまでを目安に燃料をタンクに補充します。給油量は、燃料ゲージを通してチェックすることができます。
- ② 燃料を補充します。こぼれたらすぐに拭き取ってください。
- ③ 燃料キャップを確実に締付けてください。
燃料が古かったり汚れがひどい場合は清掃もしくは新しいものと交換してください。



- ⚠ 注意** 必ず無鉛レギュラーガソリンを補充してください。高濃度アルコール含有燃料を補充すると、エンジンや燃料などを損傷する原因となります。
- ⚠ 注意** 2サイクルエンジンの混合燃料は絶対に使用しないでください。
- ⚠ 注意** 発電機が水平状態であることを確認してください。

エンジンを始動する際は以下の重要点・注意点を必ずご確認の上、始動を開始してください。下記注意事項を守られていない場合の故障、不具合、事故等については保証対象外となります。

! **重要** 本機のエンジンを始動するときは、必ずエンジンオイルが適量充填されているか確認してください。適量充填されていない状態で始動するとエンジンが焼き付きを起こし、重度の故障となります。またその場合の故障についてはいかなる理由でも保証対象外となりますのでご注意ください。

! **重要** 本機から排出される排気ガスには有害な物質を含んでいます。エンジンを始動する際は必ず屋外の換気の良い場所で使用し、本機のマフラーが作業員や人に向かないようご注意ください。

! **注意** 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止して、エンジンやマフラーが冷えてから行ってください。

! **注意** 作動中はマフラーが大変熱くなります。むやみに触れないようご注意ください。

! **注意** 本機の近くに火気類を近づけないでください。また作業員は、たばこやマッチ等火気類の使用はしないでください。またヘッドホンやラジオ、イヤホンなどは、周りの音や異常に気づきにくい場合があります。作業中の使用はしないでください。

■ エンジンの始動前の確認事項

- ① エンジンオイルは適量充填されていますか？
- ② 燃料は購入1か月以内の新鮮なものが適量充填されていますか？
- ③ 周囲の安全は確認できていますか？

上記確認事項を確認し、安全に本機をご使用ください。

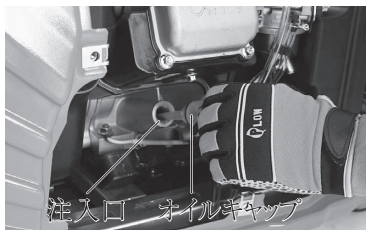
■ エンジンオイルの点検

平らな場所に発電機を置き使用する前にエンジンオイルを確認してください。

○推奨オイル 4 ストローク用エンジンオイル

SJ 10W-30 or SJ 10W-40

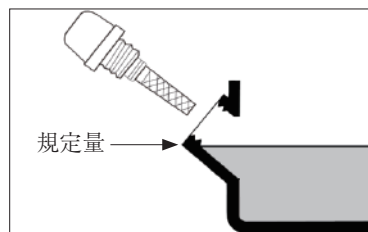
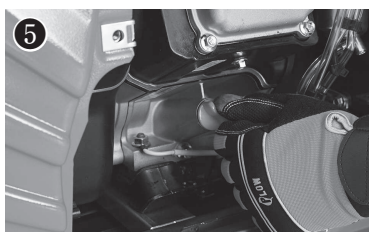
①本機が水平になっていることを確認して下さい。



②メンテナンスカバーを開き、オイルキャップを取り外します。

③キャップをねじ込まず差し込んで、キャップを外し、上限までオイルがあることを確認します。

④オイルは必ず上限（規定量）まで注油します。



⑤オイルキャップを締め、オイルの漏れがないことを確認します。

⑥オイルメンテナンスカバーを取り付け、閉じます。

危険 エンジンが温まっているとエンジンオイルが高温になっている場合があります。火傷の危険があります。エンジンオイルの点検は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。

注意 エンジンオイルレベルを規定量に保ちます。あまりにも多くまたは少なすぎるとエンジン寿命が短くなります。

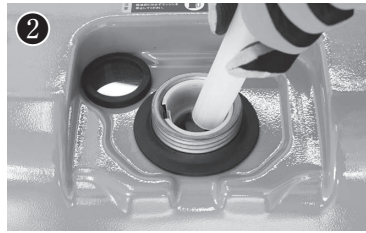
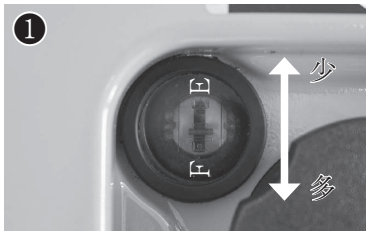
注意 エンジンオイルは使用時に燃焼したり、汚れたりしていきます。定期的に交換・充填を行うようにしてください。

注意 オイルレベルが下限より下回ると、エンジンは自動的に停止します。

注意 エンジンが停止するとオイル警告ランプ（黄色）が点灯しオイルを補充しない限りエンジンの再始動はできません。

■ 燃料の点検

エンジンを停止し本体を水平な場所に置き使用前に燃料を確認してください。



① 燃料計を通して燃料タンク内の燃料レベルを確認します。

燃料計の赤色マークが「E」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが低いことを意味します。

燃料計の赤色マークが「F」位置に近い場合は、燃料タンク内の燃料レベルが高いことを意味します。

② 必要に応じて燃料を補充してください。

③ 燃料確認後、キャップをしっかり締付けてください。

④ 燃料の漏れがないことを確認します。

警告 ガソリンは非常に揮発性が高く、可燃性と爆発性があります。燃料を補給する際は喫煙や炎や火花を出さないでください。必ずエンジンを停止してから冷却され換気の良い場所で給油を行ってください。

警告 燃料タンク注入口の赤いレベルゲージ以上に給油しないでください。

警告 使用する前に燃料漏れがないか必ず確認してください。燃料が漏れている場合は絶対に発電機を使用しないでください。

注意 燃料を確認するとき、発電機が水平であることを確認してください。

注意 無鉛ガソリンのみを使用してください。

注意 2サイクルエンジンの混合燃料は絶対に使用しないでください。

注意 必ず無鉛レギュラーガソリンを補充してください。高濃度アルコール含有燃料を補充すると、エンジンや燃料などを損傷する原因となります。

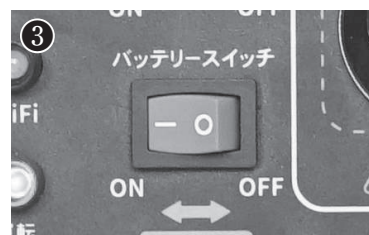
- ⚠ **危険** エンジン始動する際は必ず始動前に「P.18 エンジン始動前の注意事項」をご確認ください。適切な手順で始動されない場合、本機が故障するだけでなく、事故やケガの原因となります。
- ⚠ **危険** エンジンの排気ガスには、有毒な一酸化炭素が含まれているため、一酸化炭素による中毒死のおそれがあります。
- ⚠ **危険** 密閉された場所でエンジンを作動させると、短時間のうちに意識不明及び死亡につながる危険があります。必ず換気の行き届いた場所で使用してください。
- ⚠ **注意** 発電機を起動または操作するときは、発電機が水平状態であることを確認してください。
- ⚠ **注意** エンジンを始動する前に、発電機の交流コンセントに接続されているすべての電気製品をオフまたは取り外します。



① 燃料コックを【ON】にします。



② エコスイッチ（黒）が【OFF】であることを確認します。



③ バッテリースイッチを【ON】にします。



④ チョークレバーを引きます。



リコイルスタータの場合



セルスタータの場合

⑤ エンジンを始動します。

【リコイルスタータで始動する場合】

リコイルハンドルに少し重みを感じるまでゆっくり引き、その後すばやく引いてください。

【電動セルスタータで始動する場合】

電動セルスタートボタンを押し、エンジンが始動したことを確認しボタンを離します。



⑦ エンジン始動したらチョークレバーを【運転】の位置まで戻します。

補 足

○電動セルスタータの初回使用時は、予めバッテリーコネクタを接続する必要があります。コネクタはバッテリーメンテナンスカバーを外すとアクセスできます。



○セルスタート用バッテリーの充電は、付属の充電コードを使用して家庭用コンセントと繋げて行ってください。(P.25 セルスタート用バッテリーの充電 を参照)

! **注 意** 始動グリップが反動で発電機にぶつからないように注意してください。始動装置または本体カバーへの損傷や怪我を防ぐためにゆっくりと戻しましょう。

! **注 意** 始動グリップを引いて人や物にぶつからないように周囲に注意してください。

! **注 意** 電動セルスターターを使用する前にオイルメンテナンスカバーを開いてバッテリーコネクタを接続してください。

! **注 意** 電動スターター装置には過熱センサーが付いており、エンジンが異常に高温になると電動スターター装置が冷えない限り自動的に停止します。

! **注 意** 気温が寒い場合はエンジンを始動しやすくするためチョークレバーを【始動】位置にしてください。

! **注 意** エンジンが暖かい状態の時はチョーク操作は必要ありません。チョークレバーの位置を【運転】位置に押し込みます。

4

エンジン停止の仕方



① 本機の交流コンセントに接続されている使用機器を全て停止し、コンセントを外します。

② バッテリースイッチを【OFF】にします。

③ 燃料コックを【OFF】にします。

! **警 告** 移動または保管する際は必ず本機を冷ましてください。エンジン停止後しばらくの間は背面が高温になります。

! **警 告** エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから OFF にしない場合は燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。

■交流電源を使用する

エンジンを始動したら2～3分間稼働させてエンジンを温めた後に本機を下記のように使用することができます。



- ①出力ランプ(緑)が点灯している事を確認します。
- ②エコスイッチを【ON】の位置にします。このスイッチは接続された使用機器の負荷に応じてエンジンの回転数を制御し燃費と騒音を低減させます。
- ③使用機器のコンセントを本機の交流コンセントに接続します。
- ④使用機器の電源を入れます。

警告 交流電圧は非常に高く、感電に注意してください。濡れた手では絶対に操作しないでください。

警告 説明なしでは絶対に誰にも本機を運転操作させないでください。子供には操作させないでください。本機を雨または雪にさらさないでください。

警告 電化製品を接続されている場合は必ず地面と発電機を繋げアースをしてください。

注意 エコスイッチは、コンプレッサーや高い電気負荷など、大きな始動電流を必要とする電気製品を使用する場合は、【OFF】の位置にする必要があります。

注意 発電機に接続する前に、電源コードやコンセントの接続を含むすべての電気機器が問題のない状態であることを確認してください。

注意 電気製品の合計負荷が発電機定格出力内にあることを確認します。

注意 マルチタップなどのコンセントの負荷電流がコンセントの定格電流内であることを確認してください。

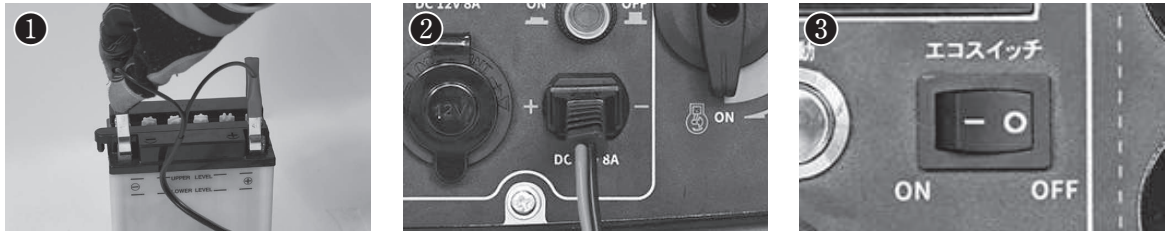
注意 定格出力をオーバーした場合、3秒間のみ2.1kVAを出力します。

注意 発電機の出力が定格電力を超え過負荷となった場合、または接続された製品にショートがある場合、過負荷ランプ(赤)が点灯、接続されている電気製品の電気が遮断され、出力ランプ(緑)が消灯します。

注意 交流プロテクターは、過負荷やショートで発電を停止した際にエンジンを再始動する事なく出力を元に戻すことができます。リセットするために押す前に過負荷の原因と取り除いてください。

注意 電気モータを使った製品を使用すると過負荷ランプ(赤)が点灯する事があります。すぐに消灯する場合は正常な動作となります。

■ バッテリー充電ケーブルの接続



- ① 充電ケーブルの赤いクリップをプラス (+) のバッテリー端子に接続し、黒いクリップのマイナス (-) に接続します。
- ② 充電コードを発電機の 12V 直流コンセントに差し込みます。
- ③ エコスイッチが【 OFF 】であることを確認します。
- ④ エンジンを始動し、バッテリーを充電します。
- ⑤ 充電時間はバッテリーのサイズと状態によって異なります。直流プロテクターはバッテリーの過充電を防ぎません。バッテリーが完全に充電されたら、直流コンセントから充電コードを抜き、バッテリーから黒いクリップ (-)、赤いクリップ (+) の順に取り外します。

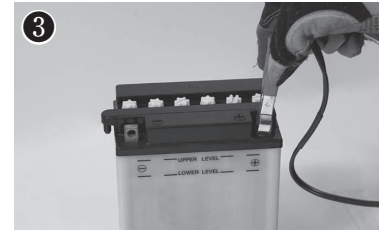
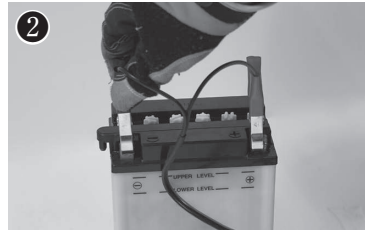
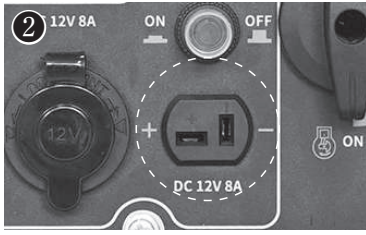
■ 12V 直流シガレットライターコンセントを使用する

クルマなどで利用している、シガレットライターコンセント対応製品などを使用できます。



- 警告** 充電中は絶対に喫煙、火気、火花、バッテリーの切断をしないでください。火花がバッテリーのガスを引火させる可能性があります。バッテリー充電中は爆発性の水素ガスが排出します。十分な換気を行ってください。
- 警告** バッテリーを取り扱う場合は保護メガネと手袋を着用してください。電解液は非常に腐食性の高い硫酸溶液で重度の火傷を引き起こす可能性があります。皮膚、目、衣服との接触をさけてください。
- 注意** 充電ケーブルを交流コンセントに接続しないでください。直流の電圧は非常に高く作業者が感電する危険性があります。
- 注意** 発電機の直流コンセントは 12V バッテリーとセルスタートバッテリーの充電にのみ使用してください。
- 注意** 充電中はバッテリーを過充電したり、無人にしないでください。
- 注意** ケーブルが発電機に接続されている間は赤と黒のクリップを離してください。
- 注意** 12V 直流出力を使用してバッテリーに充電する場合はエコスイッチを【 OFF 】の位置に切り替えます。
- 注意** バッテリー端子をクリップに接続する際は + と - を逆にしないでください。発電機とバッテリーに深刻な損傷が発生する可能性があります。
- 注意** 直流回路に過負荷または配線に問題があった場合、直流プロテクターが作動します (PUSH ボタンが伸びます)。この場合は数分待つてから直流プロテクターの部分を押し込むことで操作を再開してください。直流プロテクターが再び【 OFF 】になる場合は充電を中止して購入した販売店に連絡をしてください。

■ バッテリー充電ケーブルの取り外し



- ① バッテリーが完全に充電された後、バッテリースイッチを OFF にして、燃料コックを OFF にしてエンジンを停止します。
- ② 発電機の直流コンセントから充電ケーブルを外します。
- ③ 充電ケーブルの黒いクリップをバッテリーのマイナス端子 (-) から外します。
- ④ 充電ケーブルの赤いクリップをバッテリーのプラス端子 (+) を外します。

7

! **注意** 充電コードを使用する前に、本書をよく読み理解した上でご使用ください。

■ セルスタータ専用バッテリー充電コード



入力	AC100 ~ 240V
最大出力	0.5A、50/60Hz
出力	DC14V、0.8A、11.2W
充電時間	5 ~ 8 時間
使用温度	-20℃ ~ +45℃

セルスタート用バッテリーの充電

! **危険** 充電器の内部は高電圧となっています。危険ですので専門家以外は分解・改造・修理等しないでください。

! **警告** 充電器は屋内での使用のみ適しています。湿気の多い場所や高温の場所では使用しないでください。

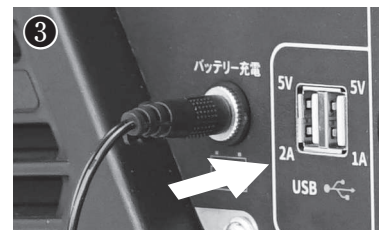
! **警告** この充電器は、プラウ発電機 GP37iE の充電にのみ使用できます。他の目的には使用しないでください。他機種で使用すると、危険を引き起こす可能性があります。

! **注意** 出力端子の正極と負極の反転を避けるために、無理な接続をしないでください。

! **注意** 充電中に煙・焦げ臭、またはその他異常な状態が見つかった場合はただちに充電コードを本体とコンセントから抜いてください。

! **注意** 発電機を長期間使用しない場合は、セルスタート用内蔵バッテリーを3ヵ月ごとに充電をしてください。完全に放電した場合は再充電ができる事があります。

■ 本体内蔵のセルスタート用バッテリーを充電する



- ① 予めバッテリーコネクタが接続されていることを確認してください。
- ② コンセントプラグを家庭用のコンセントに差し込みます。
- ③ コンセントプラグの反対側を本機の「バッテリー充電」表記下のポートに差し込みます。
- ④ バッテリー残量が少ない状態からフル充電までは5～8時間が目安です。充電時間が8時間を過ぎたら本体側の充電コードを抜いてください。

■セルスタート用バッテリーの充電時間と充電タイミング

- 充電の初期段階では、定電流モードで充電されます。充電は8時間以内で完了します。
- 発電機を3ヵ月以上使用しない場合、または使用時間が2時間未満の場合は、充電器を使用して充電してください。充電時間は1回あたり約8時間です。充電終了後は充電プラグを必ず抜いてください。

- ⚠ **注意** 発電機を長期間使用しなかった場合、内蔵の始動バッテリー残量がなくなる可能性があります。その場合はこの充電器でバッテリーを充電してください。
- ⚠ **注意** バッテリー残量が無い状態では発電機のセルスタータが正常に機能しない場合があります。適切な充電は、セルスタート用バッテリーの耐用年数を延ばすのに役立ちます。
- ⚠ **注意** 発電機を長期間使用しない場合は、3ヵ月ごとに充電をしてください。
- ⚠ **注意** コンセントプラグを外して、シガーソケットを本体に接続したままにしておくと内蔵バッテリーの消耗や劣化が早くなります。
- ⚠ **注意** 内蔵バッテリーは消耗部品のため、いかなる理由でも保証の対象にはなりません。

GP18iE は Gen-mate アプリを使ってスマートフォンでモニタリングすることが出来ます。

- ⚠ **重要** Gen-mate アプリ使用による損害や損失についてメーカーは一切の責任を負いません。Gen-mate アプリの利用規約に同意した上で個人の自己責任においてご使用ください。
- ⚠ **重要** Gen-mate アプリをインストールする際、警告メッセージが表示される場合があります。Gen-mate アプリの利用規約に同意した上で「TRUST this APP」をご選択ください。アプリを使用しなくても発電機は問題なくご使用いただけます。
- ⚠ **重要** Gen-mate アプリはスマートフォンでの使用を想定しております。

■ Gen-mate アプリをインストール

iOS は App Store から、Android は Google Play から「Gen-mate」アプリをダウンロード・インストールしてください。

■ ユーザー登録とログイン

- ① アプリを開いたら「Register (登録)」をタップして、入力画面の指示に従って入力してください。(英数字でご入力ください)
 - Please input your account name (アカウント名を入力)
 - Email address (メールアドレスを入力)
 - Verification code (認証コードを入力)
認証コードはアカウント名とメールアドレス入力後、「send code」をタップすると入力したメールアドレスに認証コードが送信されます。
 - Login password (ログインパスワード)
 - Confirm login password (ログインパスワードの確認)

全項目を入力後、「Quick Register」をタップしてユーザー登録を完了します。

- ② 次回ログインする時は、登録したアカウント名とパスワードでログインします。

The screenshot shows the registration interface of the Gen-mate app. At the top is the Gen-mate logo. Below it are several input fields: 'Please input your account name', 'Email address', 'Verification' (with a 'Send code' link), 'Login password', and 'Confirm login password'. Each field has an icon on the left (person, envelope, checkmark, padlock) and a clear button on the right. At the bottom is a large grey button labeled 'Quick register'.

■ アプリに発電機を追加する

- 1 Gen-mate アプリを起動、ログインします。アプリ画面下の「Management」項目をタップし、「Management」ページを表示させます。
- 2 スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON にします。
- 3 発電機を始動して、発電機とスマートフォンを Wi-Fi で接続します。GP37iE の Wi-Fi 信号は、「GP37iE + 製造番号」の名前が付けられています。(例: GP37iE 00000000)
- 4 発電機とスマートフォンを Wi-Fi 接続した状態で、画面右上 "Add device (デバイス追加)" をタップして、「Device detected (検出されたデバイス)」ページを表示させます。追加したい発電機の Wi-Fi 信号項目の "Quick add (追加)" を選択します。
- 5 "New devices" ページが表示されたら「OK」をタップする前に Wi-fi 機能をオフにします。次にモバイルネットワーク接続の状態で、「New devices」ページで「OK」を選択します。
- 6 アプリに発電機が追加されると "Management" ページ内に GP18iE が表示されます。

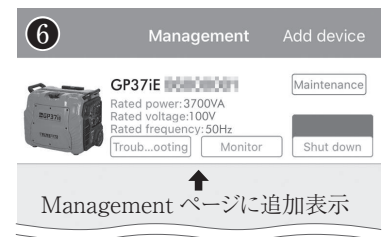
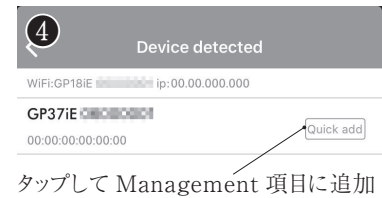
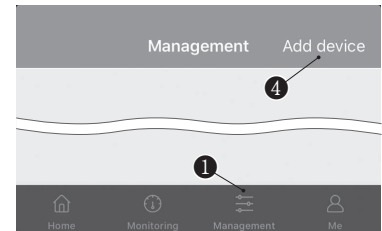
補 足 Gen-mate アプリは、Gen-mate を搭載した発電機に接続することができます。

補 足 発電機が追加されるまでは少し時間がかかる場合があります。

補 足 発電機をリストから削除するには、「Management」ページから削除したい発電機項目を左にスライドし、「Delete」をタップして、最終確認後に削除されます。削除後は "Historical data (履歴データ)" も削除されません。Total running time (総運転時間) のみ削除されません。

補 足 スマートフォンと発電機の通信可能な距離は、使用環境によって影響されます。遮蔽物のない開けたエリアに発電機が設置されている場合、通信可能な距離は最大 100 メートルを超える場合もあります。

補 足 発電機のモニタリング・制御はスマートフォンと発電機を Wi-fi 接続する必要となります。アカウントの操作や履歴データを確認する場合はモバイルネットワーク接続や、インターネット接続環境が必要となります。



■ 発電機のモニタリング

- 1 スマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにして、スマートフォンと発電機を Wi-Fi 接続します。
- 2 "Management" ページの「Monitor」をタップすると "Monitoring" ページで以下の項目をモニタリングすることができます。



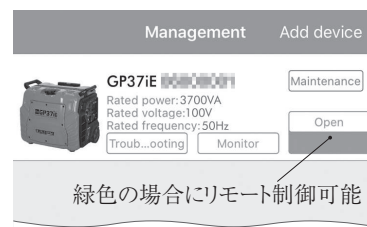
電源 (Power)	運転時間 (Running time)
電流 (Current)	総運転時間 (Total running time)
電圧 (Voltage)	燃料消費率 (Fuel consumption rate)
周波数 (Frequency)	総燃料消費量 (Total fuel consumption)
燃料残量 (Remaining fuel)	総出力 (Total power output)

注意 燃料残量 (Remaining fuel) を正確にモニタリングするには、燃料タンクを満タンにした時点で、モニタリング画面の「Click to calculate after filling fuel tank」をタップする必要があります。

注意 モニタリング結果は "Me" ページ内の「Historical data (履歴データ)」に蓄積されます。インターネット接続されるタイミングでサーバーにモニタリングデータが蓄積されます。

■ アプリによる発電機の始動 (オプション)

発電機とスマートフォンが Wi-Fi 接続されていることを確認します。"Management" ページの「open (始動)」アイコンをタップして、発電機を始動させることができます。※制御可能時は「open」アイコン周りが緑色になります。



警告 本機のエンジンを始動するときは、必ずエンジンオイルが適量充填されているか確認してください。適量充填されていない状態で始動するとエンジンが焼き付きを起こし、重度の故障となります。またその場合の故障についてはいかなる理由でも保証対象外となりますのでご注意ください。

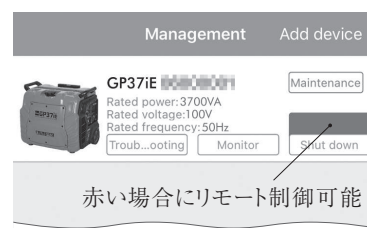
警告 本機から排出される排気ガスには有害な物質を含んでいます。エンジンを始動する際は必ず屋外の換気の良い場所で使用し、本機のマフラーが作業員や人に向かないようご注意ください。

注意 始動前に燃料コックと燃料キャップつまみとエンジンスイッチを ON にしてください。

注意 外気温やエンジンの状態に応じてチョーク操作を行ってください。

■ アプリによる発電機の停止

発電機とスマートフォンが Wi-Fi 接続されていることを確認します。"Management" ページの「shut down (停止)」アイコンをタップして、発電機を停止させることができます。※制御可能時は「shut down」アイコン周りが赤くなります。



警告 エンジンを冷やす前に燃料キャップのつまみレバーを【OFF】にしないでください。エンジンを十分に冷やしてから OFF にしない場合は燃料タンク内の圧力によってタンクが潰れてしまう可能性があります。

注意 発電機を停止する前に、発電機に接続されている電子機器をすべてオフにするか、発電機本体から取り外してください。

■ アプリ内トラブルシューティング

発電機にトラブルが発生した場合は、"Management" ページの「Trouble shooting (トラブルシューティング)」で診断することができます。同じ内容のトラブルシューティングを本書の「P.41 トラブルシューティング」に日本語で掲載しています。

注意 本製品を絶対に改造しないでください。保証を受ける事ができなくなります。

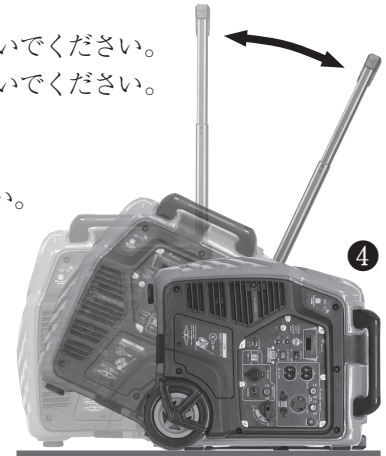
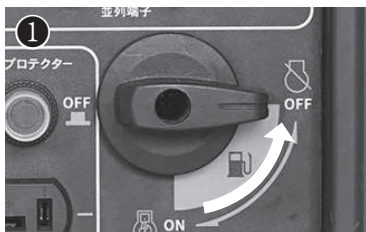
■発電機を運搬・横置きにする

本製品は背面（キャリアハンドル側）を下にする場合のみ横置きに対応しています。反対側に横倒しにするとオイル漏れ、エンジン等に損傷を与える可能性があります。また燃料が漏れ火災や爆発を起こす可能性があります。

警告 本体を傾けたり横置きする前に燃料コックを【OFF】にしてください。

警告 エンジンを運転した状態で傾けたり横倒しにしないでください。また傾けたり横倒しの状態でエンジンを始動しないでください。故障やケガの原因になる可能性があります。

本製品を移動・運搬・横倒しや保管する前に次の手順に従ってください。



- ① 燃料コックを OFF にする。
- ② 移動または保管する前に必ずエンジンを冷ましてください。
- ③ 燃料キャップをしっかりと締めてください。
- ④ 車輪を支点に移動・運搬、または横置きにします。

警告 本体の全ての空気取り入れ口を確認しゴミや泥や水が入らないようにします。空気取り入れ口は発電機の全面パネルと背面カバーにあります。取入口が塞がれていると発電機が過熱してエンジン・インバーター等が故障する可能性があります。

警告 エンジン作動中はメンテナンスカバーを取り外さないでください。そうでない場合は冷却不良によりインバーターやその他の電子部品が損傷する可能性があります。

■牽引ハンドルの操作

牽引ハンドルは本体の背面側に格納されています。伸ばした状態で傾け、車輪を利用して楽に移動することができます。



- ① ハンドル中央のボタンを押してロックを解除し、ハンドルを引き上げます。
- ② ハンドルを最大まで引き上げるとロックされ、固定された状態を確認しハンドル操作行います。
- ③ キャリアハンドルを格納するにはロック解除ボタンを押して、ハンドルが再びロックされるまで押し下げて本体に格納します。

定期的にメンテナンスをする事によって本製品が最適な状態に保つ事ができます。

警告 点検や整備のために本機に取りつけられている安全のための保護カバーを取り外すときは、その部分の作動が完全に停止していることを確認してから、保護カバーを取り外してください。点検や整備のために取り外した保護カバーは必ず元の通りに取り付けてください。

警告 メンテナンス前に本書を読み必要なツールや技術がある事を確認してください。

警告 メンテナンスをする前にエンジンを停止し、エンジンが始動ができない状態である事を確認してください。

警告 火災や爆発の危険を回避するため、メンテナンス作業するときは注意が必要です。部品の洗浄にはガソリンではなく、不燃性の溶剤のみを使用してください。タバコ、火花、炎を本体に近づけないでください。

注意 交換する部品は当社の指定する部品以外は使用しないでください。部品購入は正規取扱店へお問い合わせください。メンテナンスが行えない場合は購入した販売店へ依頼してください。

注意 業務使用の場合、通常より短い期間でメンテナンスが必要となり、怠ると保証できない故障が発生する可能性があります。

◎初回 ○通常

点検項目	運転時間毎に点検・整備をする目安			
	作業前毎時	6ヵ月目又は 50時間毎	1年目又は 100時間毎	2年目又は 300時間毎
エンジンオイル	点検	○		
	交換 ※1		○	
エアクリナー	点検	○		
	清掃		○ ※2	
点火プラグ	点検		○	
	交換			○
燃料タンク	点検	○ ※6		
	清掃		○	
スパークアレスター (マフラー防爆網)			○	
バルブクリアランス				○ ※3
燃焼室				○ ※3
燃料ホース				○ ※3 ※4
バッテリー	充電	3ヵ月以内 ※5		

※1 初回 10 時間でエンジンオイルを交換します。

※2 ほこりの多い場所で使用する場合はより頻繁にメンテナンスが必要になります。

※3 この点検は専門のサービススタッフが行う必要があります。

※4 必要に応じて 2 年毎に燃料ホースを交換してください。

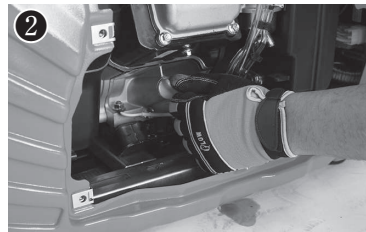
※5 セルススタート用バッテリーは、家庭用コンセントと発電機を付属コードでつなげると充電が開始されます。ゼロから満充電まで目安は約 8 時間です。最低でも 3 ヶ月毎に充電する必要があります。

※6 燃料は必ず購入 1 か月以内の新鮮な無鉛ガソリンをご使用ください。それ以前の燃料は劣化により点火しづらくなるだけでなく、キャブレター内にタール状の沈殿物を発生させエンジンに不具合が生じる場合があります。

危険 エンジン停止直後は、エンジンオイルが高温になっており、手や肌が触れるとヤケドの危険があります。オイルの点検、交換は安全な温度に下がった状態で作業してください。

警告 エンジンオイルを排出する前に「P.38 キャブレターから燃料を排出する」に従い、キャブレター内の燃料を排出し燃料漏れを防止してください。

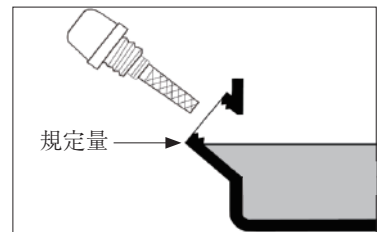
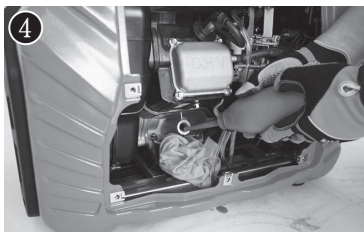
エンジンが暖かい状態でエンジンオイルを排出すると早くきれいに排出する事ができます。



① 燃料キャップをしっかりと締めます。

② メンテナンスカバーを開けます。

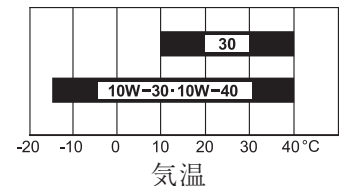
③ エンジンの近くに適切な容器を置き、オイルキャップを取り外し使用済みのオイルを抜きます。オイルファンネルを注油口に合わせ本体を傾け容器に排出してください。



④ エンジンを水平にして推奨オイルを注油口の上限（口切り）まで入れます。

⑤ オイルキャップをしっかりと取り付け、メンテナンスカバーを取り付けます。

オイルの種類	4サイクル用エンジンオイル (SJ 10W-30/SJ 10W-40)
容量	0.6L
交換時期	初回 10 時間 / それ以降は 6 ヶ月または 50 時間毎



注意 エンジンオイルを注油する時は本体を傾けず水平の状態に入れてください。

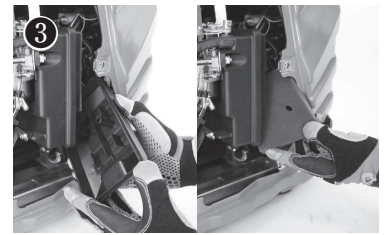
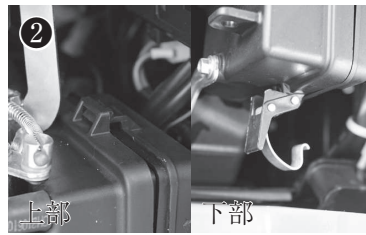
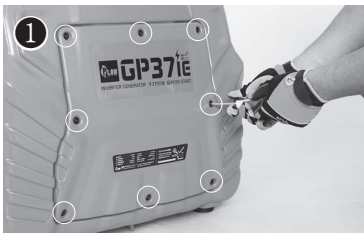
注意 エンジンオイルは地域の廃棄方法を確認し処分を行ってください。不適切な廃棄は環境に害を及ぼす可能性があります。

エアクリナーが汚れて詰まるとエンジンに燃焼用の空気を送れず、点火しづらかったりエンジン回転数が安定しないなど、エンジン不具合の原因となります。定期的エアクリナーを清掃してください。土埃や埃などが多い環境で使用される場合は頻繁に点検清掃を行ってください。

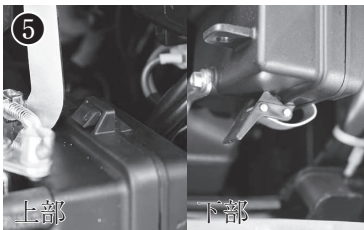
警告 ガソリンや可燃性溶剤を使用してエアフィルターを掃除すると火災や爆発を引き起こす可能性があります。石鹼水または不燃性溶剤のみを使用してください。

注意 エアフィルターなし、またはエアフィルターが損傷している状態でエンジンを操作すると汚れがエンジンに入り、エンジンが急速に摩耗します。この場合は故障トラブルはメーカー保証の対象外となります。

■ 清掃方法



- ① 写真○印の 8 本のネジを緩めメンテナンスカバーを取り外します。
- ② エアフィルターカバーの上下の留め具を外します。
- ③ カバーを外し、中のエアフィルターを取り出します。
- ④ 家庭用の洗剤と温水の溶剤でスポンジを洗浄し洗い流すか不燃性もしくは低引火点の溶剤で洗浄し、完全に乾燥させてください。ポロボロ崩れたり、汚れがひどいときは新しいものに交換してください。



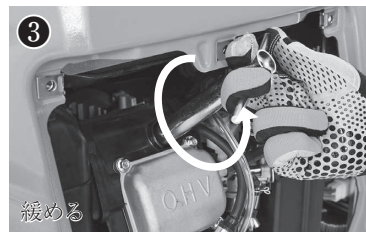
- ⑤ きれいなエアフィルターを入れ、カバー上部のフックを留め、下部のロックしてください。
- ⑥ 最後にメンテナンスカバーを取り付けます。

重要 エアクリナーカバーの取付けは確実に行ってください。取付けが悪いと振動でカバーが外れることがあります。

! **注意** エンジンが適切に作動するには点火プラグに適切な隙間をあげ、カーボンなどの堆積物がないようにする必要があります。

! **注意** 故障している点火プラグはエンジン故障の原因になる事が可能性があります。

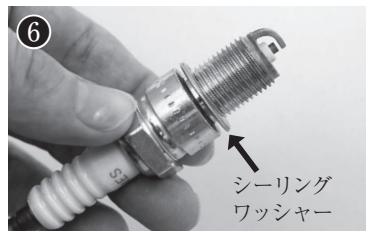
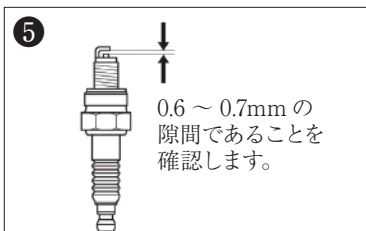
! **注意** エンジン動作後は点火プラグを整備する前にエンジンを冷ましてください。



① メンテナンスカバーのネジを緩め、カバーを取り外します。

② 点火プラグキャップを取り外します。

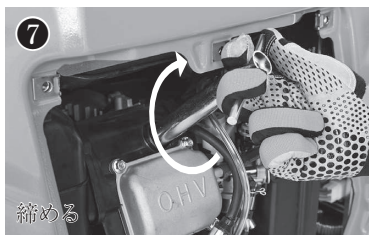
③ プラグレンチを使用して、点火プラグに差し込んで反時計方向に回し点火プラグを取り外します。



④ 点火プラグを点検し、電極の摩耗や絶縁体に亀裂、欠け、汚れがある場合は交換します。

⑤ 隙間ゲージで点火プラグの電極の隙間を測定します。必要に応じて調整や点火プラグの交換を行ってください。

⑥ 点火プラグシールワッシャーが良好な状態であることを確認します。



⑦ 点火プラグを装着して、プラグレンチで締め込みます。新しい点火プラグを取り付ける場合は点火プラグが締め込まれてからさらに1/2回転締め込んでください。使用済み点火プラグの場合、手で締めてから工具で1/8～1/4回転締め込んでください。

⑧ スパークプラグにプラグキャップをしっかりと取り付け直します。

⑨ メンテナンスカバーを再度取り付けます。

! **注意** 点火プラグが緩んでいるとエンジンが過熱して損傷する可能性があります。点火プラグを締め込み過ぎるとシリンダーヘッドのネジ山が損傷する可能性があります。

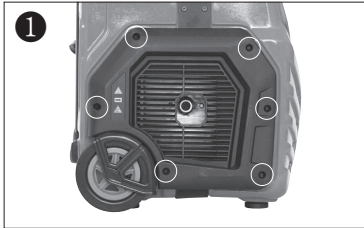
5

スパークアレスタアの点検

注意 発電機を使用して直ぐの場合、マフラーは非常に高温になります。必ず冷ましてから作業をしてください。

注意 スパークアレスタアは 100 時間毎に点検する必要があります。スパークアレスタアが詰まるとエンジンがオーバーヒートし故障する原因になります。

下記の手順でスパークアレスタアをクリーニングします。



- ① 6本のネジを緩め、カバーを取り外します。
- ② スパークアレスタアを固定している六角ネジを、付属の六角レンチ（小）で半時計方向に回し取り外します。
- ③ カーボン堆積物が付着している場合はブラシ等で除去します。
- ④ 破損や裂け目がないか点検し、必要に応じて交換します。
- ⑤ スパークアレスタアとカバーを取り付けます。



6

燃料タンクフィルターの清掃

警告 作業中は喫煙したり、火気を近づけたりしないでください。



緩める



- ① 燃料キャップと燃料タンクフィルターを取り外します。
- ② 燃料タンクフィルターをガソリンで洗浄します。破損している場合は交換してください。
- ③ 燃料タンクフィルターを拭き、取り付けます。
- ④ 燃料キャップを取り付けます。



締める

6

ご使用後の注意事項

1

ご使用後の注意事項

ご使用が終わった後は、本機を安全に長くご使用いただくためにもきちんとした管理とメンテナンスを心がけていただくようお願いいたします。また、ご使用時にオイル漏れがある場合は速やかに修理・点検を行ってください。

- ①各部に傷やヒビ、オイル漏れ等がないか確認し、異常がある場合は修理・交換してください。
- ②長期間使用しない場合は燃料を抜き取り、適切なメンテナンス後、雨風や日光の当たらないところに保管してください。長期保管の仕方は「P.39 長期保管の注意事項」をご参照ください。
- ③保管する場合は必ずエンジンやマフラーが冷えてから保管してください。また近くに可燃物や火気のある場所には保管しないでください。

7

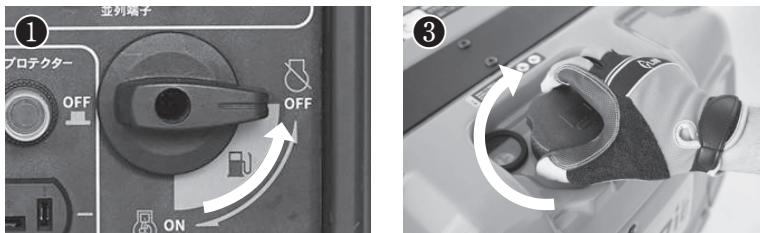
運搬と保管

1

運搬と保管

！ 警告 作業中は喫煙したり、火気を近づけたりしないでください。

- 発電機を十分冷やしてから保管または運搬してください。
- 発電機を運搬または格納する前に、次の手順に従ってください。



- ①燃料コックを【OFF】にします。
- ②運搬したり保管したりする前に、発電機を冷やします。
- ③燃料キャップをしっかりと閉じます。

長期保管をする場合はキャブレター、燃料ホース、燃料タンクなど燃料が使われている部品にガム状の蓄積部が形成されないように燃料を抜くことが重要です。

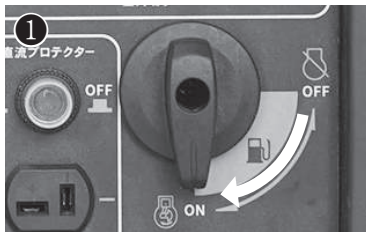
発電機を6ヵ月以上保存する場合は次のようにメンテナンスをする必要があります。

警告 ガソリンは引火性が高く爆発する事があります。

警告 熱や炎や火花を近づけないでください。

警告 燃料は屋外で取り扱いを行ってください。

警告 燃料がこぼれたらすぐに拭きとってください。



① 燃料コックを ON の位置にします。



② メンテナンスカバーのネジを緩め、カバーを取り外します。



③ ドレインホースを適切な容器にセットします。

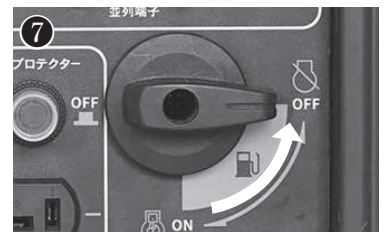


④ ドレインスクリューを反時計回りに緩め、ドレインホースから容器にガソリンを排出します。



⑤ ガソリンの排出が完了したらドレインスクリューを時計回りにしっかりと締めます。

⑥ ドレインホースを本体の元に戻し、メンテナンスカバーを取り付けます。



⑦ 燃料コックを【OFF】の位置に回します。



⑧ 燃料キャップをしっかりと締めます。

1

長期保管のご注意

シーズンオフや1か月以上ご使用の予定がない場合は本機を適切なメンテナンスを行った上、雨風の当たらない場所に保管してください。適切な処理をされない場合、次回使用時に不具合が発生する場合があります。その場合の不具合・故障につきましては保証対象外となりますのでのくれぐれもご注意ください。

2

メンテナンス・保管

**危険**

エンジン停止直後は、エンジンオイルが高温になっており、手や肌が触れるとヤケドの危険があります。オイルの点検、交換は安全な温度に下がった状態で作業してください。

- ① エンジンがまだ暖まっている間にオイルを排出し、推奨のオイルを補充してください。
- ② スパークプラグを取り外しプラグ取り付け穴から約 15ml (1/2 オンス) のエンジンオイルをシリンダーに注ぎ、穴を布で覆います。始動グリップを数回引いてシリンダー内をオイルで保護します。
- ③ スパークプラグを取り付けて締め込みます。
- ④ 圧縮を感じるまでリコイルスタータを引きます。これによりシリンダーとバルブの錆が防止されます。
- ⑤ 発電機の外装を清掃します。発電機の冷却空気スロットと開口部にゴミなど遮る物がない事を確認します。
- ⑥ 発電機は清潔で乾燥した場所で保管してください。可能であれば室内で保管しホコリや汚れから保護するためにカバーをかけてください。

3

燃料タンクからの燃料排出

**警告**

ガソリンは引火性が高く爆発する事があります。

**警告**

熱や炎や火花を近づけないでください。

**警告**

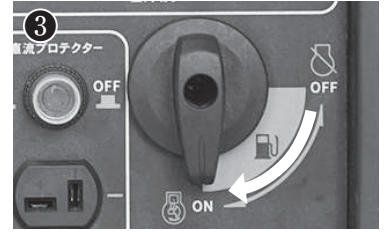
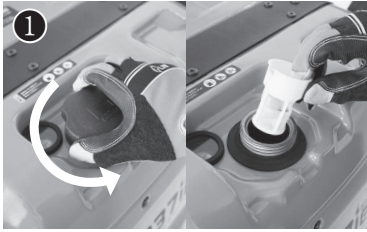
燃料は屋外で取り扱いを行ってください。

**警告**

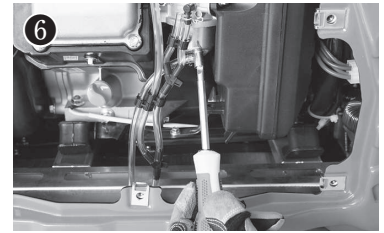
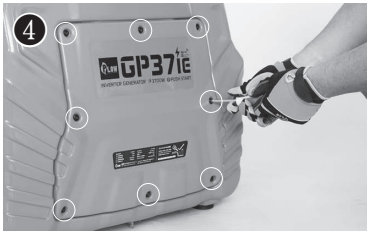
燃料がこぼれたらすぐに拭きとってください。

**重要**

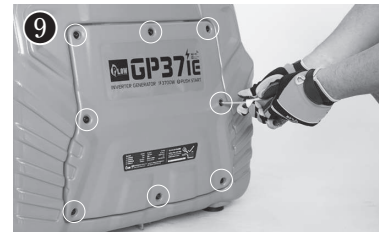
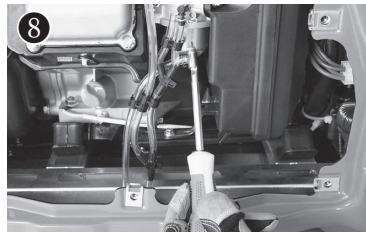
- 燃料をペットボトルなどに入れて保管しないでください。また、ペットボトルなどに入れた燃料を使用しないでください。エンジン故障の原因になります。
- ドレインホースから燃料は排出する際は、燃料キャップを外すか燃料キャップつまみを ON にした状態で行ってください。
- 燃料タンク内にゴミや水が混入しないように十分注意してください。



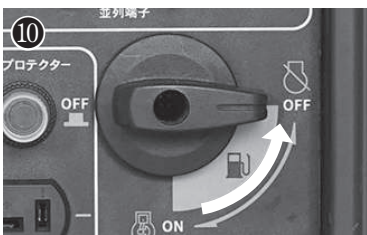
- ① 燃料キャップを外し、燃料給油フィルターを取り外します。
- ② 灯油ポンプ等でタンク内の燃料をだまかに別容器に移します。
- ③ 燃料コックを【ON】の位置にします。



- ④ 前面のネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外します。
- ⑤ ドレインホースを適切な容器にセットします。
- ⑥ ドレインスクリューを反時計回りに緩めます。



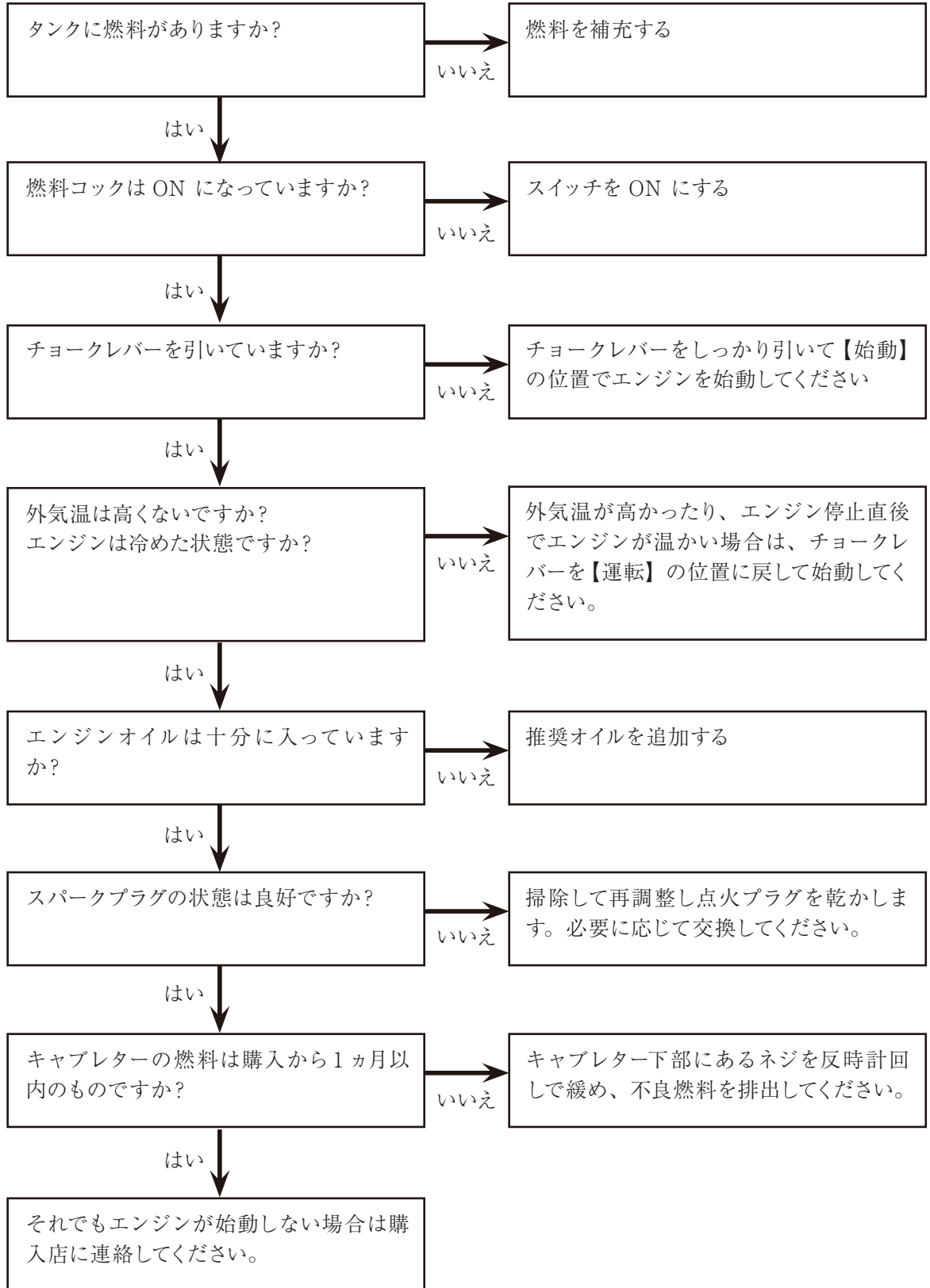
- ⑦ 燃料タンクとキャブレター内に残った燃料をドレインホースを通じて容器に排出させます。
- ⑧ 燃料の排出が完了したらドレインスクリューを時計回りにしっかりと締めます。
- ⑨ ドレインホースを本体の元に戻し、メンテナンスカバーを取り付けます。



- ⑩ 燃料コックを【OFF】の位置に回します。
- ⑪ 燃料給油フィルターを取り付けます。
- ⑫ 燃料キャップを時計回りにしっかりと締めます。

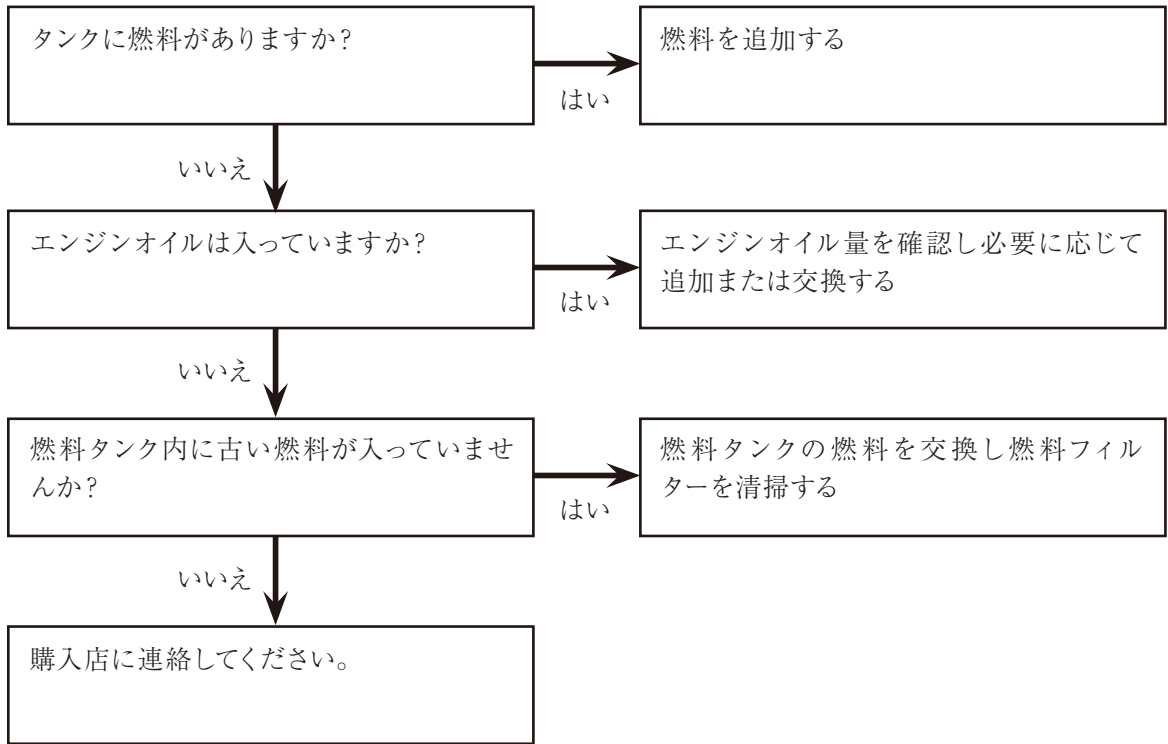
トラブル	考えられる原因 →対処方法
エンジンが始動しないまたは、始動しづらい。	エンジンスイッチが【OFF】になっている。 →エンジンスイッチを【ON】にしてください。
	燃料がない。 →無鉛ガソリン燃料を給油してください。
	エンジンオイル不足によりオイルアラートが作動している。 →エンジンオイル量を確認し適量を充填してください。
	チョークレバーが適切でない。/ 過燃料になっている。 →再始動時や気温が暖かい場合、何度か「始動」の状態でもリコイルを引いて始動しない場合は、過燃料の可能性があります。その場合はチョークレバーを「運転」側に戻して始動を試してください。
	何度もリコイルを引いた。 →過燃料の状態でもリコイルを引くとプラグに燃料が被り火花が飛ばなくなる場合があります。その場合は20～40分程度時間をおいて再始動を試してください。
	キャブレターが詰まっている。 →キャブレターを分解清掃する必要があります。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
	スパークプラグのカーボン蓄積 →本書「P.30 メンテナンス」を参照の上、スパークプラグを清掃していただくか新しいものと交換してください。
	間違った操作をしている。 →本書「P.18 使用方法」をご参照の上、手順をもう一度ご確認ください。
	古い燃料が入っている。 →古い燃料を燃料タンクやキャブレター内から抜き取り、ご購入1カ月以内の新しい無鉛ガソリンを給油してください。
エンジンに力がない。	エアフィルターが詰まっている。 →「P.30 メンテナンス」を参照の上、エアフィルターを清掃していただくか新しいものと交換してください。
	古い燃料が入っている。 →古い燃料を燃料タンクやキャブレター内から抜き取り、ご購入1カ月以内の新しい無鉛ガソリンを給油してください。
	キャブレターが詰まっている。 →キャブレターを分解清掃する必要があります。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。
	スパークアレスターが詰まっている。 →スパークアレスターを取り外し清掃します。

電気が取り出せない。	<p>過負荷ランプが点灯</p> <p>→発電中に使用電気機器に異常があった場合や、過負荷の時に出力ランプ(緑)が消え過負荷ランプ(赤)が点灯し、電気が取出せなくなります。この場合、異常がある電気製品を取り外します。また電気製品は発電機の定格出力内の機器を使用してください。</p>
	<p>出力ランプが消灯して電気が取り出せない。</p> <p>→発電機の出力よりも多い電気製品を使用すると過負荷状態となり、出力保護回路が働いて発電されなくなります。まず発電機から電気製品を取り外し、交流プロテクターが【OFF】になっていることを確認後、リセットボタンを押すかエンジンを再始動してください。</p>
始動後エンジンがすぐに停止する。	<p>エンジンオイル不足を感知するオイルアラートが作動している。</p> <p>→エンジンオイルを適量充填してください。オイル不足で充填しても始動できない場合はご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。</p>
	<p>エンジン始動後、チョークレバーを「運転」戻していない。</p> <p>→エンジン始動後はチョークレバーをゆっくりと「運転」に戻してください。</p>
	<p>発電機の出力以上の電気製品を接続している。</p> <p>→接続している電気製品を外してエンジンが安定するか確認してください。</p>
	<p>エンジンオイルが減ってオイルアラートが作動している。</p> <p>→始動中にエンジンオイルが不足すると、オイル警告ランプ(黄色)が点灯し、エンジンは自動的に停止します。エンジンオイルが規定量になっているか確認してください。またエンジンオイルが規定量入っていても本機を傾斜するとオイルアラート機構が作動しエンジン停止する場合があります。エンジン始動中は本機を傾けたりしないでください。</p>
キャブレター・エアクリーナー付近から燃料が漏れている。	<p>キャブレターが詰まっている。</p> <p>→キャブレターを分解清掃する必要があります。ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。</p>
	<p>キャブレターフロート部の固着によるオーバーフロー現象</p> <p>→燃料の劣化や移動の振動などによりキャブレター内のフロート(浮)が正常に作動していないため、キャブレターのカップ付近に軽い衝撃を与えてフロートの固着を取り除く。それでも漏れが治らない場合はご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。</p>
リコイルスターターが引けない。	<p>スターターの反動機構が破損している。</p> <p>→ご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。</p>
	<p>エンジンオイルを入れすぎている。</p> <p>→エンジンオイルを規定量以上に給油した場合、燃焼室にエンジンオイルが侵入しリコイルが引けなくなる場合があります。オイル量を再度確認してください。燃焼室に侵入したオイルはスパークプラグを取り外した状態でリコイルを引くことにより排出できます。作業時はエンジンスイッチを必ず【OFF】の位置にしてください。</p>
	<p>エンジンオイルが入っていない、もしくは不足している。</p> <p>→オイルを適量充填してください。それでも改善しない場合はご購入された販売店、もしくは発売元にご相談ください。</p>
異音・異常振動している。	<p>ボルト・ナットが緩んでいる。</p> <p>→ボルト・ナットの増し締めをしてください。</p>



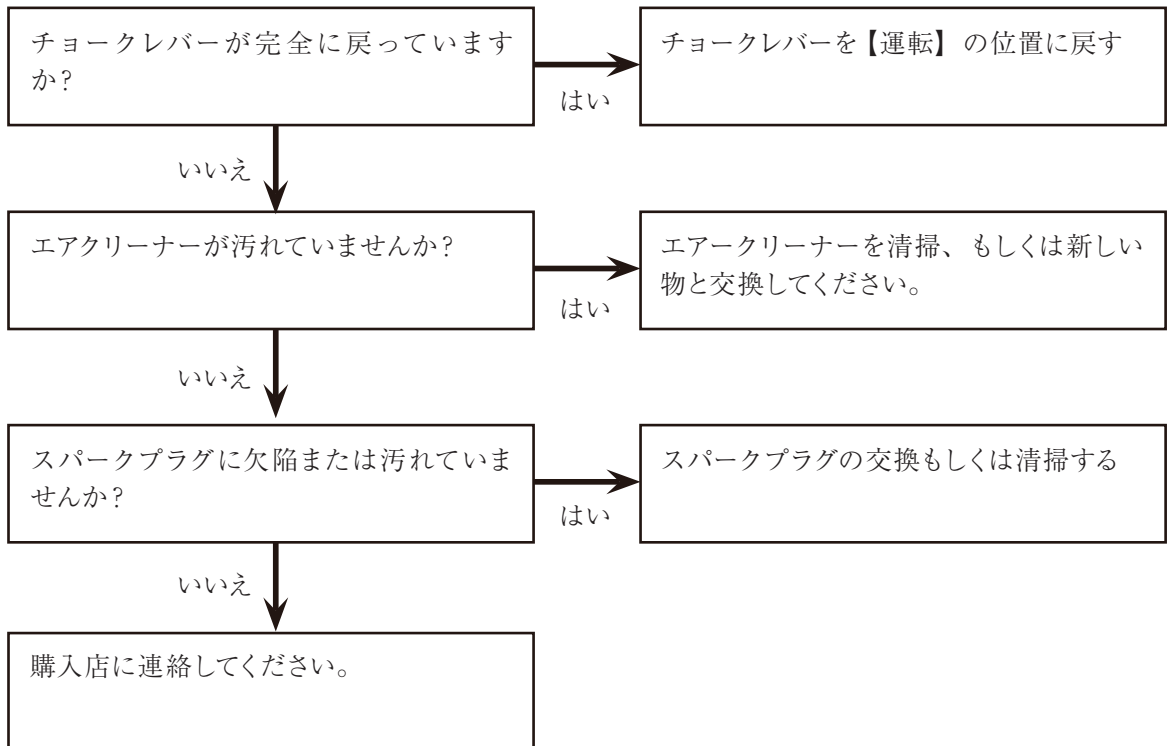
3

エンジンが正常に動作しない場合



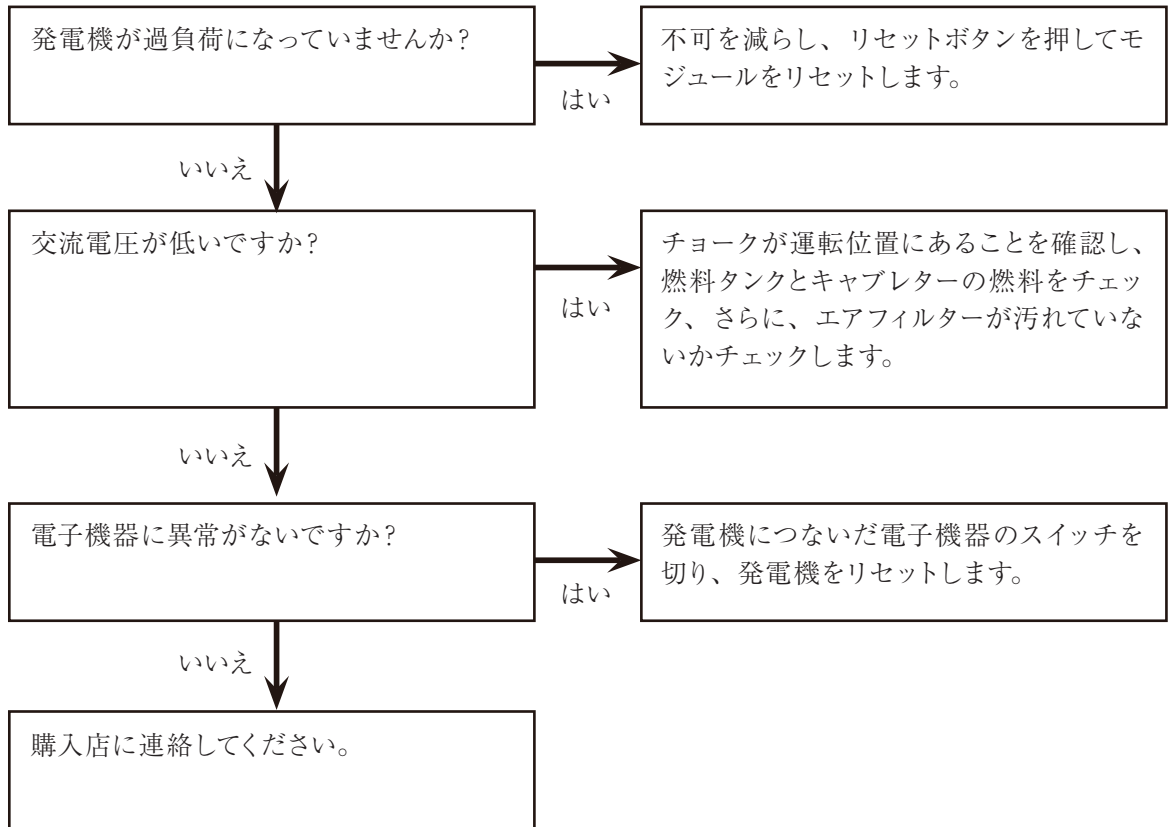
4

始動するがエンジン回転数が安定しない



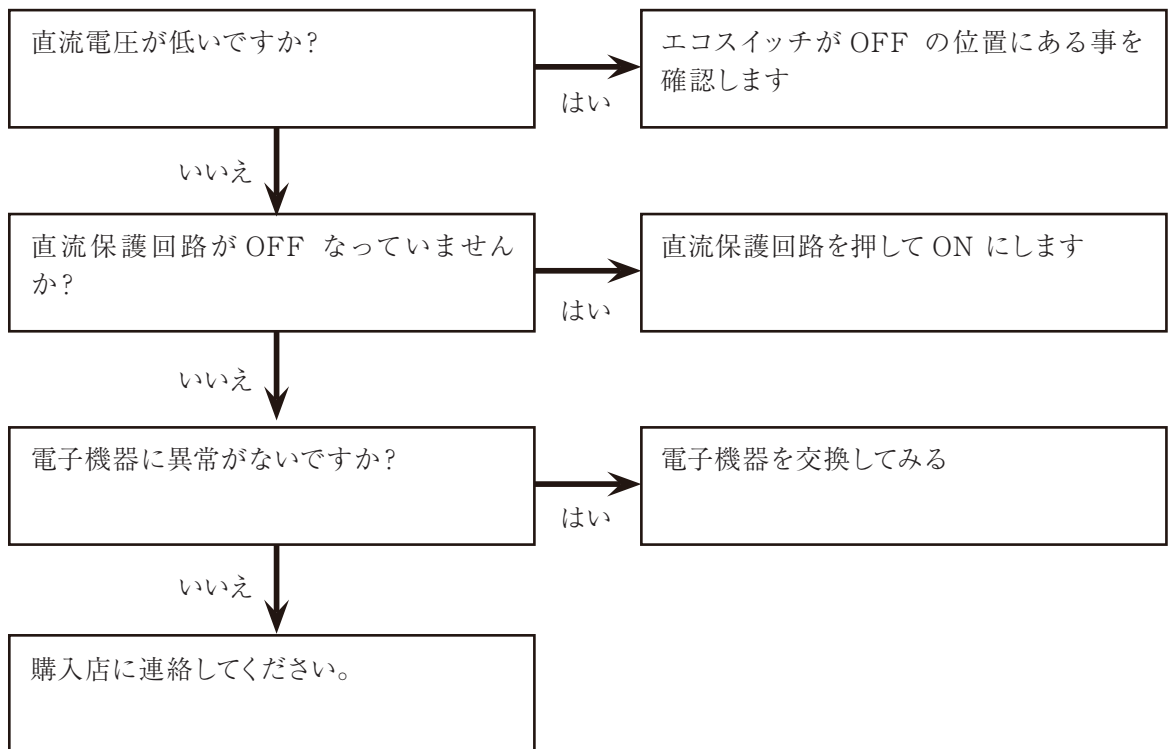
5

交流電源が出力されていない



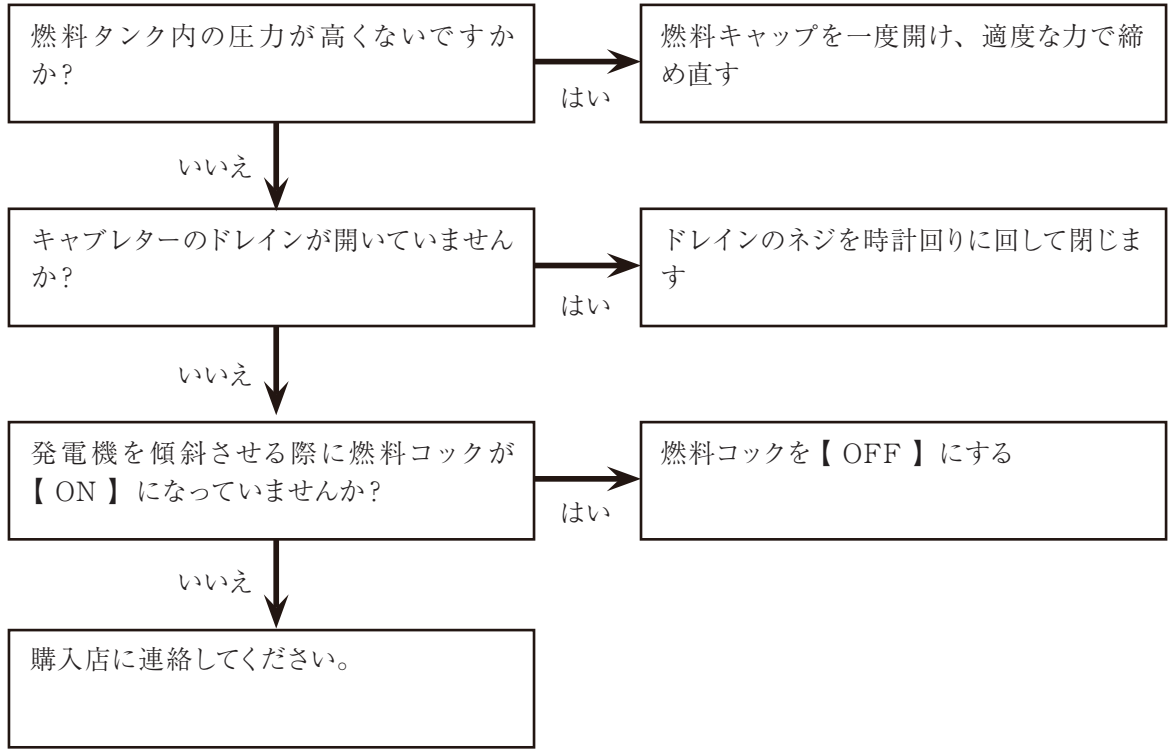
6

直流電源が出力されていない



6

ドレインホースからの燃料漏れ



	型式	GP37iE	
寸法	全幅	650mm	
	全高（ハンドル含む）	550mm（990mm）	
	奥行	475mm	
	重量	48kg	
エンジン	タイプ	4 ストロークガソリン OHV	
	冷却システム	強制空冷	
	シリンダー配置	単気筒	
	排気量	212cm ³	
	ボア×ストローク	70.0mm × 55.0mm	
	燃料タイプ	無鉛ガソリン	
	燃料タンク容量	13.0L	
	オイル種類	SJ 10W-30 または SJ 10W-40	
	オイル容量	0.6L	
	スパークプラグ	TORCH F7RTC / NGK BPR7ES	
		ギャップ 0.7 ~ 0.8mm	
	定格連続運転時間	エコスイッチ OFF 6.0 時間 @ 定格負荷	
		エコスイッチ ON 15.0 時間 @ 1/4 定格負荷	
点火システム	CDI		
始動方式	リコイル / 電動スターター		
騒音レベル（LWA）	CE 規格で 4m から 保証騒音値：92dBA		
交流出力	出力波形	純正弦波、THD < 3%	
	定格電圧	100V	
	定格周波数	50/60Hz	
	定格出力	3.7kVA	
	最大出力	4.2kVA（3 秒間）	
	安全装置タイプ	電子制御	
	コンセント規格	15A：接地形 2P 15A 125V 平刃 アース付	
30A：NEMA L5-30P			
直流出力	定格電圧	12V	
	定格電流	8A	
	USB	5V/2A/1A	
	安全装置タイプ	DC プロテクター	

※実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します。

発電装置は定格大気条件の下で定格出力までの負荷だけをかけることが許される。

このISO 8528 のパート8 に規定する標準状態に適合しない条件の下で発電装置を使用する場合、また例えば狭い空間であるなどの理由のために機関又は交流発電機の冷却が損なわれる場合は、出力を下げる必要がある。温度、高度及び湿度が標準状態におけるものより高い場所における使用の場合、使用者にそのために必要な出力の低減について知らせるための情報を提供することが望ましい。

定格電力出力は、次のように標準条件に基づいています

- 高度：0m
- 周辺温度：25° C
- 相対湿度：30%

環境補正係数：

高度 (m)	周辺温度℃				
	25	30	35	40	45
0	1	0.98	0.96	0.93	0.90
500	0.93	0.91	0.89	0.87	0.84
1000	0.87	0.85	0.82	0.80	0.78
2000	0.75	0.73	0.71	0.69	0.66
3000	0.64	0.62	0.60	0.58	0.56
4000	0.52	0.52	0.50	0.48	0.46



注 意

相対湿度 60% 補正係数 C-0.01;

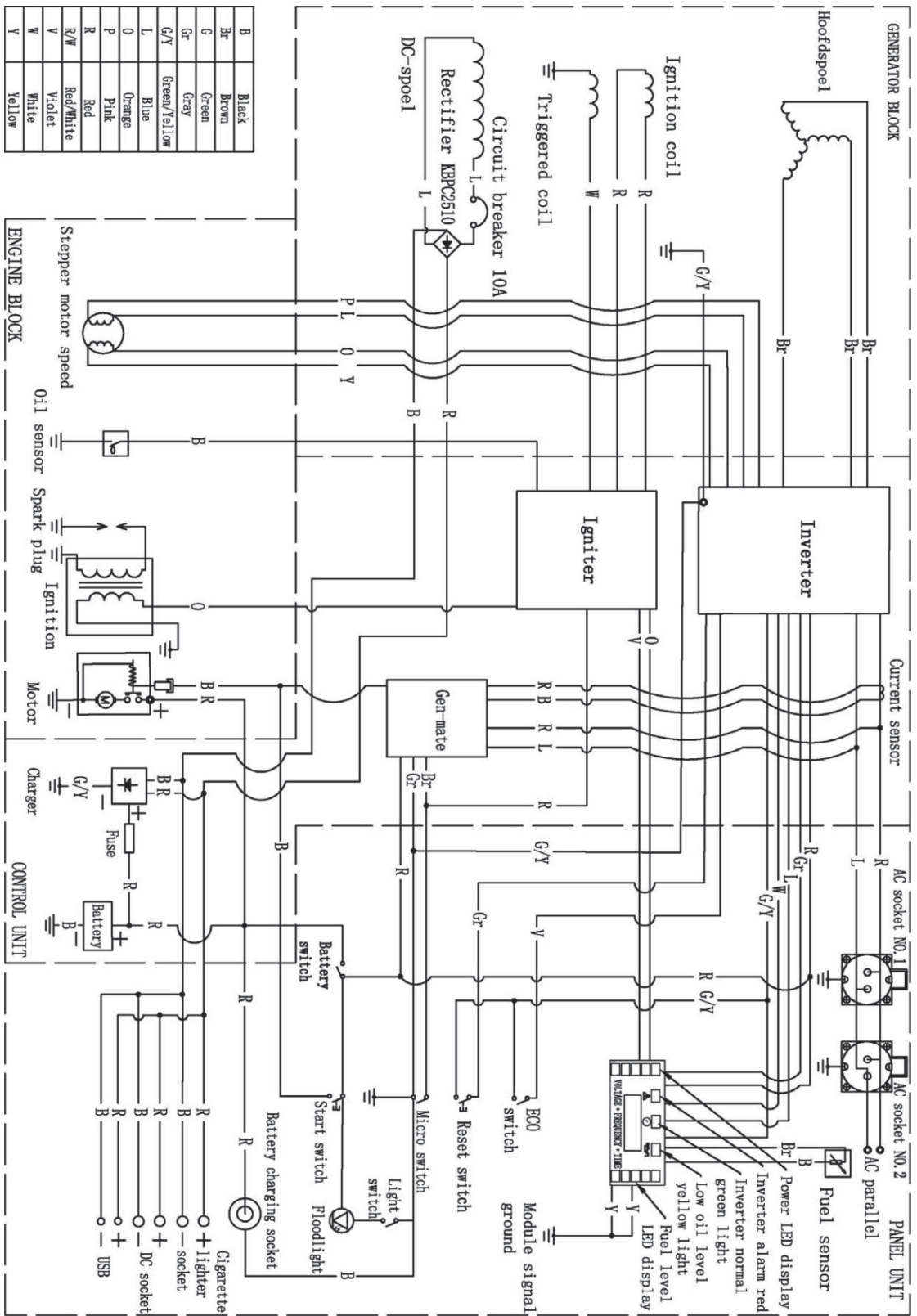
相対湿度 80% 補正係数 C-0.02;

相対湿度 90% 補正係数 C-0.03;

相対湿度 100% 補正係数 C-0.04;

例)

発電機定格電力 $P_N = 3.7\text{kVA}$, 高度：1000m, 周辺温度：35℃, 相対湿度：80%,
実効電力 $P = P_N * (C - 0.02) = 1.7 * (0.82 - 0.02) = 2.96\text{kVA}$





パーツリストについては、プラウ ホームページでのご案内となります。

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」ページ URL

bit.ly/plowparts

発売元 株式会社ホンダワーク

〒943-0173 新潟県上越市富岡256-2

お問い合わせ先 ☎025-530-7025

<https://plow-power.com/>

